

農事改良資料
第一一七號

自給肥料改良增產
獎勵事業成績概要

農林省農務局編

14.24

717

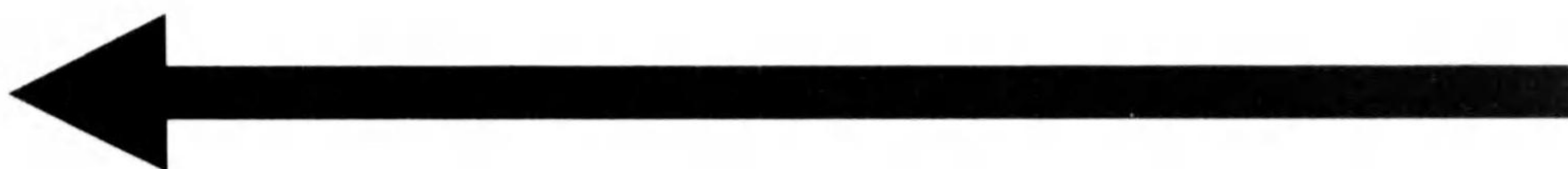
14.24-717



1200501163298



始



14.2/717

農事改良資料第一一七號

昭和十一年三月

昭和九年度自給肥料改良增產獎勵事業成績概要

農林省農務局

正誤表

頁	行	正	誤
目次	一	増産スル件	産増スル件
五	三	二五七・一四	三五七・一四
充	五	八・七六二	八・七六二
三	三	三九・三九二	三九・三九二
三	三	二・一二六	二・一二六
三	三	六一・八一〇	六一・八一〇
三	三	一・三四〇	一・三四〇
三	三	七九・五〇八	七九・五〇八
三	三	三・一一五	三・一一五
三	三	九・二〇〇萬貫	九・二〇〇萬貫
三	三	計	計
三	三	一〇二	一〇一
三	三	六・五五	六・五五

序

自給肥料ノ改良増産ハ農村ノ現状ニ徴シテ緊要ナル事項ナルニ鑑ミ昭和七年度ヨリ左記施設ニ依リ

自給肥料改良増産獎勵ヲ行フコトナリタリ。乃チ

- (一) 農林省ニ於テ直接又ハ適當ナル機關ニ委託シテ自給肥料改良増産獎勵普及宣傳ノ爲必要ナル資料ノ作製配給、講習會ノ開催其ノ他適當ナル事業ヲ行フ
- (二) 道府縣ニ於ケル自給肥料増産獎勵施設ニ要スル費用ニ對シ國庫ヨリ獎勵金ヲ交付ス
- (三) 道府縣其ノ他適當ナル團體ニ於ケル厩肥ノ生産利用ニ關スル施設ニ要スル費用ニ對シ國庫ヨリ獎勵金ヲ交付ス

本施設ノ實施セラルルヤ之ニ相對應シテ全國ニ亘リ各其ノ地方ノ實情ニ即シテ最適切ナル自給肥料

改良増産獎勵施設實施セラレ農村現状ノ匡救、農家經濟ノ更生ニ貢獻セル處尠カラザルモノアリ。

茲ニ前記施設ノ中(一)農林省ニ於ケル自給肥料改良増産獎勵普及宣傳事業及(二)道府縣ニ於テ

自給肥料改良増産獎勵金ノ交付ヲ受ケテ施行シタル施設ノ昭和九年度事業成績ノ概要ヲ道府縣ノ報告



ヨリ輯録刊行シ以テ自給肥料改良増産上ノ參考ニ資セントス。

昭和十一年三月

農林省農務局



昭和九年度自給肥料改良産増奨励事業成績概要

目次

14.21-1717

〔一〕 農林省ニ於ケル自給肥料改良増産奨励普及宣傳事業成績概要	一頁
一、自給肥料改良増産施用奨励ニ關スル印刷物ノ作製配付	一
二、自給肥料改良増産施用普及宣傳協議會ノ開催	一
三、自給肥料改良増産施用奨励優良農會ノ表彰	一九
四、春播緑肥ノ改良増産普及宣傳	二〇
〔二〕 道府縣ニ於テ自給肥料改良増産奨励金ノ交付ヲ受ケテ施行シタル事業成績概要	二二
北海道	二
青森縣	二七
岩手縣	三〇
宮城縣	三三
秋田縣	三四
山形縣	三七
福島縣	三九
茨城縣	四〇
栃木縣	四六
群馬縣	四七
埼玉縣	五一
千葉縣	五二
東京府	五九
神奈川縣	六〇

新	富	石	福	山	長	岐	靜	愛	三	滋	京	大	兵	奈	和	鳥
湯	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	賀	都	阪	庫	良	歌	取
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	府	府	縣	縣	縣	縣
.....
三	五	七	七	三	七	七	三	三	六	七	九	三	三	七	七	九
島	岡	廣	山	德	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	
根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	兒	繩	
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	
.....	
一五	一七	一〇	一三	一八	二三	二五	二六	一九	三〇	三三	三六	三七	四二	四四	四九	

〔三〕 道府縣ニ於ケル自給肥料改良獎勵増産施設一覽.....一五二

〔四〕 昭和九年度自給肥料改良増産獎勵金交付一覽.....一五四

附 錄

一	内地ニ於ケル自給肥料ノ消費高.....	一五
二	内地ニ於ケル綠肥栽培面積.....	一五
三	道府縣別綠肥栽培面積.....	一六
四	道府縣別綠肥生産量.....	一六
五	道府縣別堆肥消費高.....	一六
六	昭和八年及昭和九年ニ於ケル道府縣別耕地反當自給肥料施用高.....	一六
七	昭和九年度道府縣ニ於テ自給肥料改良増産獎勵金ノ交付ヲ受ケテ作製セル印刷物一覽.....	一六

圖 版 目 次

一 ホ ス タ ー (二種)

二 寫 真

- (一) 寒冷積雪地方ニ成功シタ紫雲英栽培
- (二) 果樹園ニ於ケルザートウキツケンノ間作
- (三) 紫雲英原種ノ採種
- (四) ザートウキツケンノ採種
- (五) 紫雲英根瘤菌ノ培養配付 (其ノ一)
- (六) 同 上 (其ノ二)
- (七) 同 上 (其ノ三)
- (八) 紫雲英根瘤菌接種ノ效果
- (九) 速成堆肥ノ積込
- (十) 堆肥増産動員週間ノ堆肥積込實況



非常時農材





寒冷積雪地方に成功した紫雲英栽培

(新潟縣南蒲原郡田上村千刈)

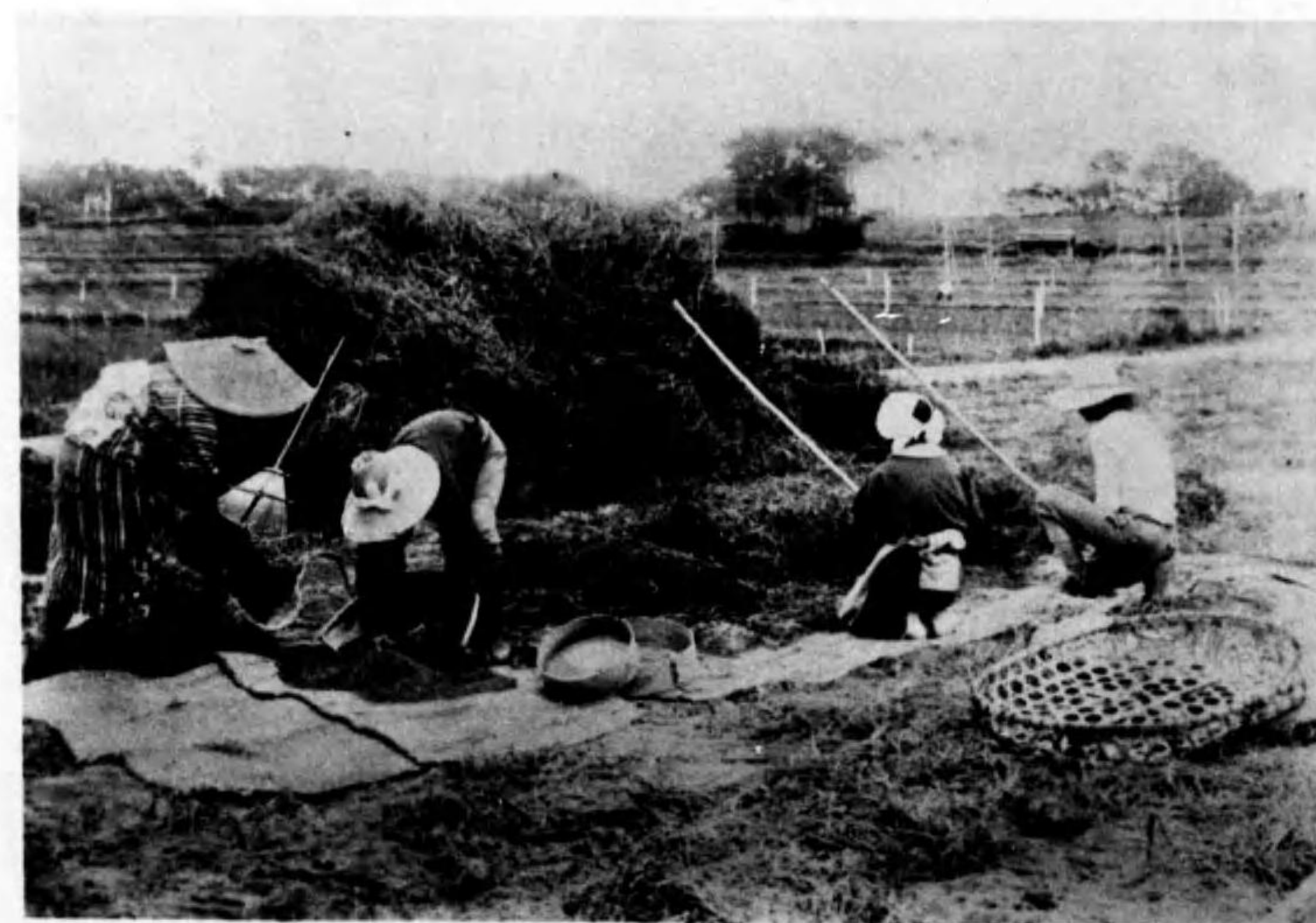


果樹園に於けるツキウツケの間の作

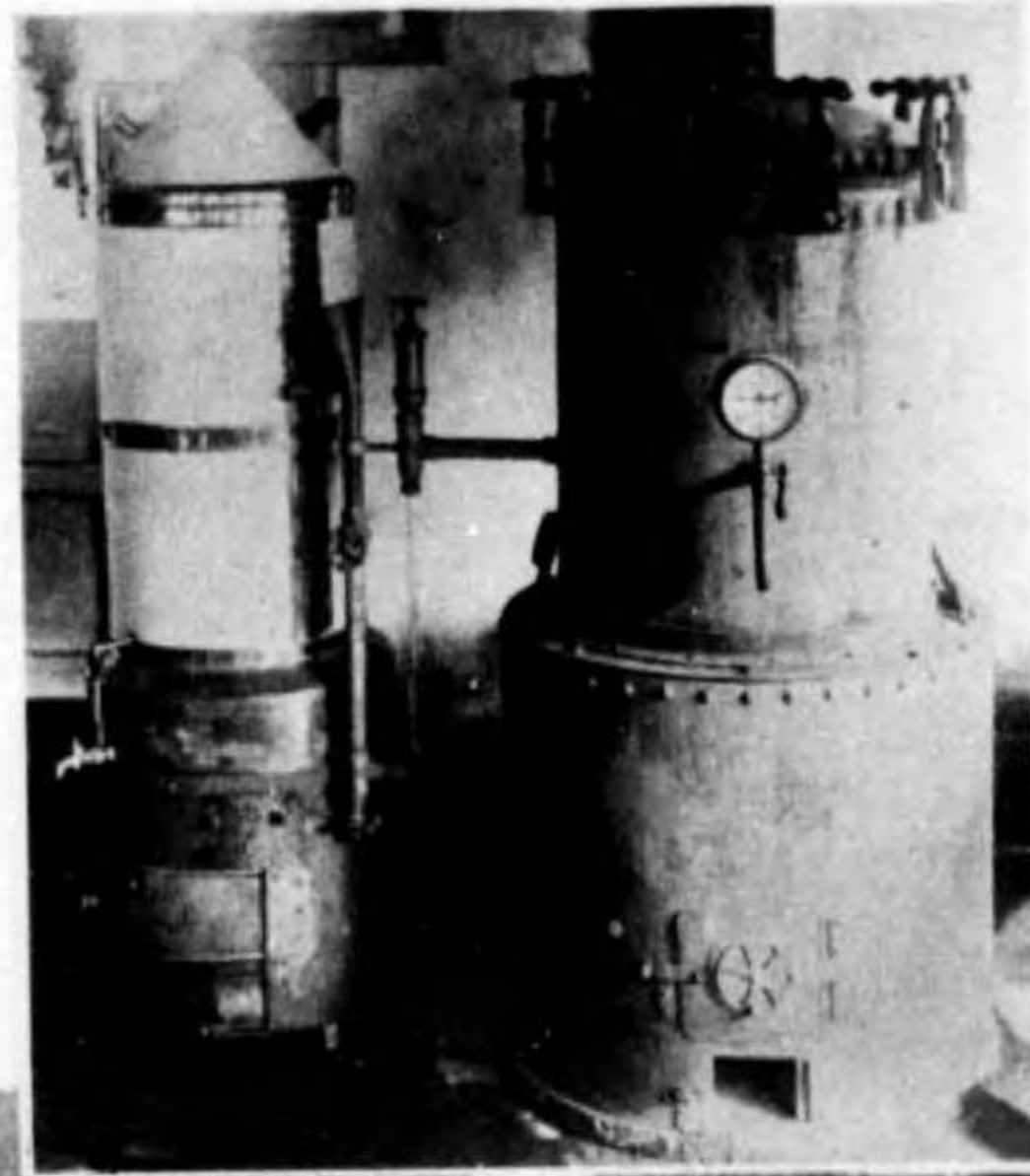
(岐阜縣海津郡石津村)



種採の種原英雲紫
(場驗試事農縣山富)



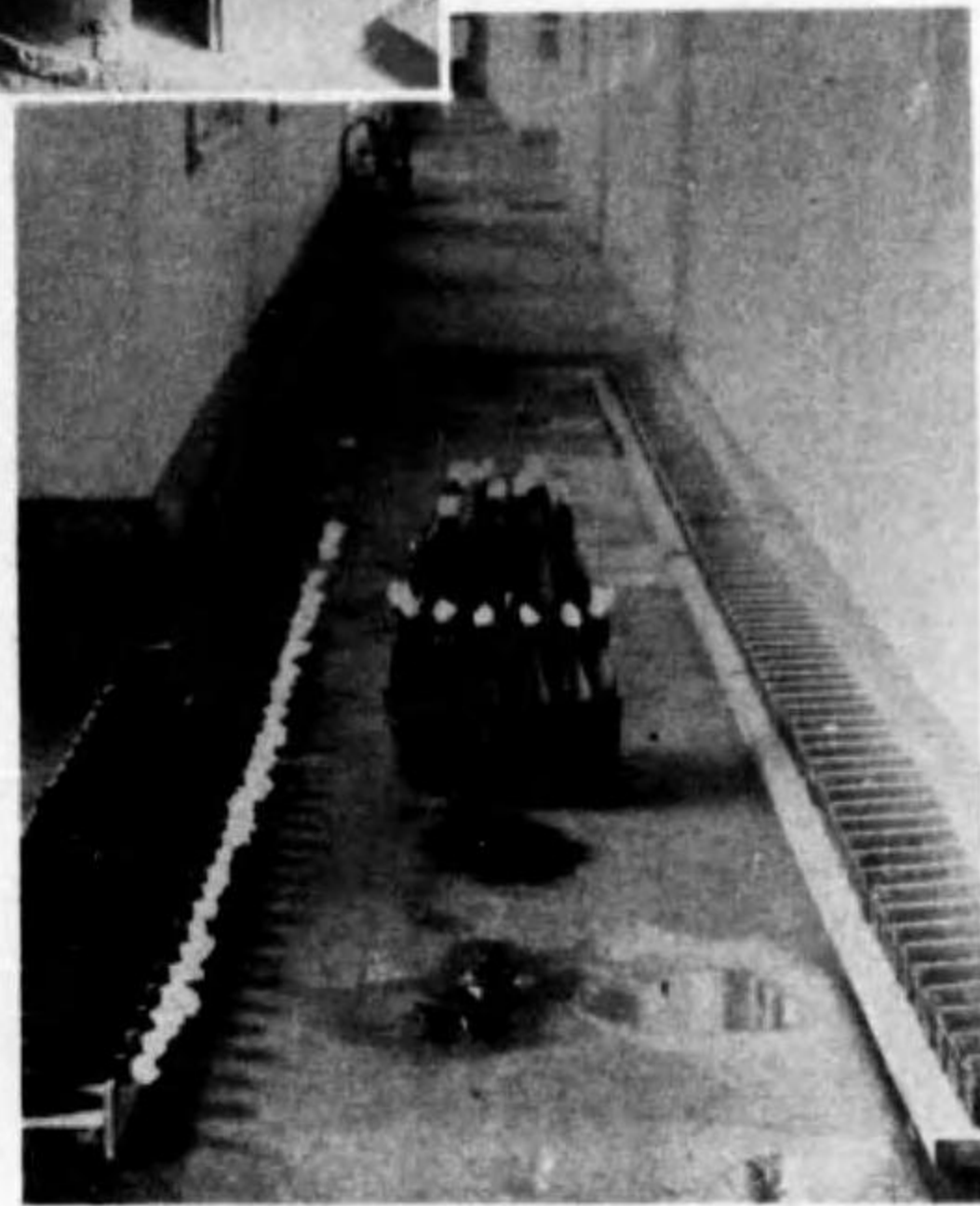
種採のンケツキウトーザ
(町子白郡藝河縣重三)



紫雲英根瘤菌の培養配付 其の一
 (千葉縣農事試驗場)



三の其上同



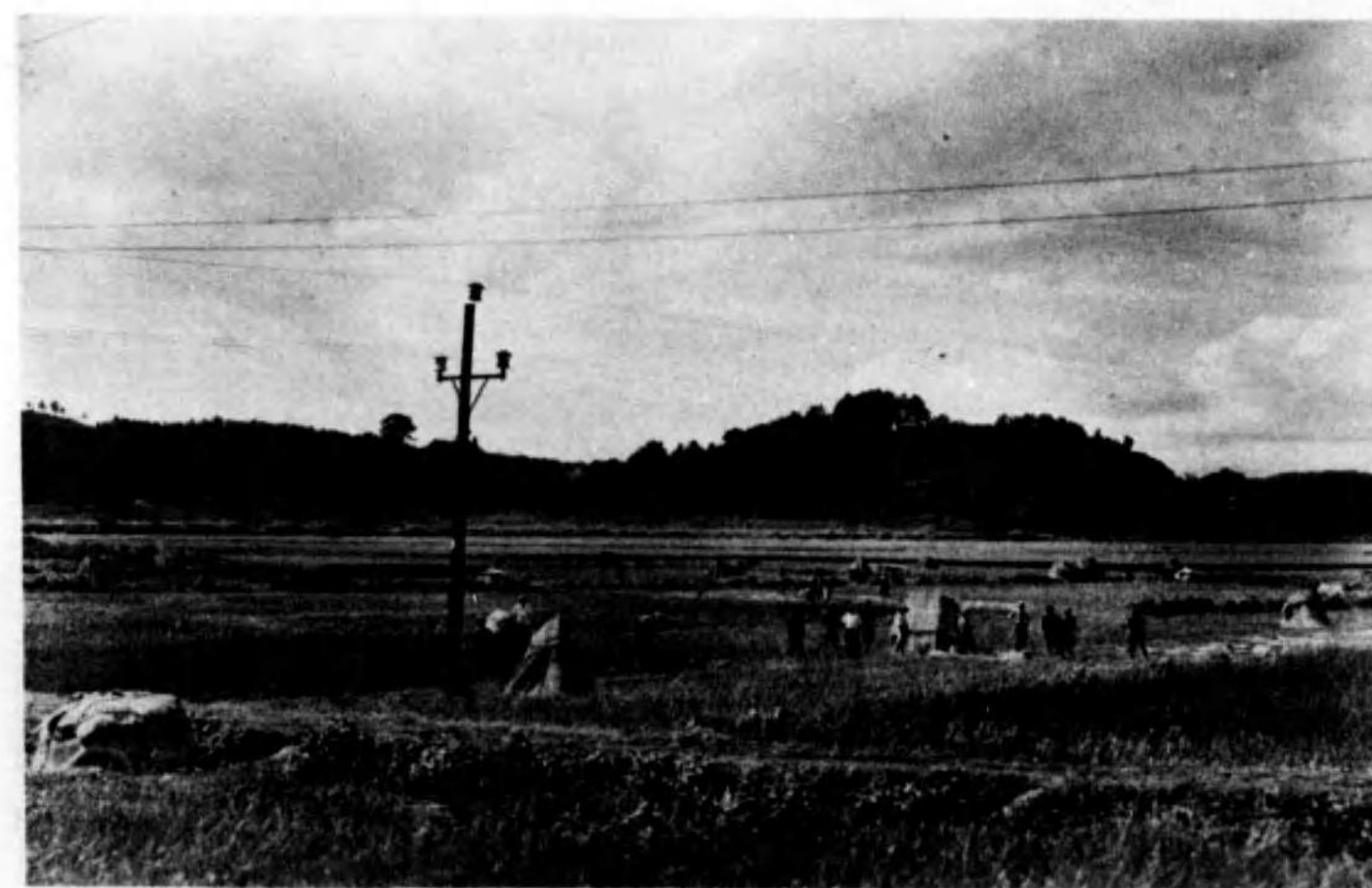
二の其上同



(刈〇一四當坪量收草生)種接無 (刈〇五八貫一當坪量收草生)種接
 (場驗試事農縣城茨) 果效の種接菌瘤根英雲紫



速成堆肥の積込
(京都市農事試験場)



堆肥増産勤員の間堆肥積込の實況
(大分縣速見郡杵築町)

昭和九年度自給肥料改良増産獎勵事業成績概要

(一) 農林省ニ於ケル自給肥料改良増産獎勵普及宣傳事業成績概要

一 自給肥料改良増産施用獎勵ニ關スル印刷物ノ作製配付

名	種	別	備	考
昭和八年度自給肥料改良増産獎勵事業成績概要	冊	子	帝國農會ニ委託シテ自給肥料改良増産施用獎勵優良農會ノ表彰ヲ行ヒ其ノ事績ヲ輯録セルモノナリ	
自給肥料改良増産施用獎勵優良農會ニ關スル調査	冊	子		
朝鮮ニ於ケル青刈大豆ノ生産及取引状況調査	冊	子		

二 自給肥料改良増産施用普及宣傳協議會ノ開催

帝國農會ニ委託シテ各農區ニ於ケル道府縣廳及道府縣農事試驗場等ノ關係職員、道府縣農會役職員郡市町村農會技術員及篤農家等ヲ招集シ自給肥料改良増産施用普及宣傳ニ關シ次ノ如ク協議會ヲ開催セリ。

農區	開催地	開催期日	關係道府縣
東北區	盛岡市	昭和九年八月七日・同八日	北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
關東區	宇都宮市	昭和九年九月四日・同五日	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野
北陸區	福井市	昭和九年八月一日・同二日	新潟・富山・石川・福井
東海區	岐阜市	昭和九年九月二十一日・同二十二日	岐阜・静岡・愛知・三重
近畿區	和歌山市	昭和九年七月三十日・同三十一日	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中國區	廣島市	昭和九年七月六日・同七日	鳥取・島根・岡山・廣島・山口
四國區	德島市	昭和九年八月三日・同四日	德島・愛媛・香川・高知
九州區	福岡市	昭和九年七月十日・同十一日	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿兒島・沖縄

協議會ニ於ケル協議事項及之ニ對スル決議次ノ如シ

▲東北區

一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持増進スルタメ適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

- (一) 自給肥料ノ改良増産ハ農業ノ根幹ヲナシ地力ノ増進並農家經濟ニ及ボス重要事項ナル信念ヲ一層強化セシメ之ガ實行ノ意氣發揚ニ努ムルコト

右趣旨ヲ徹底セシムルタメ左記事項ヲ實行スルコト

- (イ) 團體綜合成績ノ向上ニ努メ特ニ農村中堅青年男女ノ活動ヲ促スコト
- (ロ) 自給肥料増産ニ關スル一齊運動ヲ農村ノ年中行事タラシムルコト
- (ハ) 品評會、獎勵會又ハ視察會等ヲ開催スルコト
- (ニ) 優良事績ヲ調査シ之ガ表彰ヲ行フコト
- (ホ) 關係機關ハ之ガ研究及指導獎勵ニ一層ノ努力ヲナスコト
- (二) 自給肥料改良増産獎勵ニ關スル經費ニ對シ政府ハ之ガ助成ヲ厚クシ施設ノ徹底ヲ期スル様帝國農會ヲ通ジ政府ニ要望スルコト

二、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及價格ノ低下ヲ圖ルタメ適切ナル方法ニ關スル件(帝國農會提出)

〔決議〕

- (一) 各道府縣ハ極力綠肥種子ノ自給ヲ圖ル方針ノ下ニ左ノ方策ヲ講ズルコト
 - (イ) 其ノ地方ニ適應スル綠肥作物ノ育種及採種法ノ研究ヲナスコト
 - (ロ) 優良綠肥作物ノ原種圃並採種圃ノ完備ヲ圖ルコト
 - (ハ) 綠肥採種方法ノ指導ヲナスコト
- (二) 綠肥種子ノ撰擇並需給ニ關シテハ農會ハ各關係機關ト連絡協調シ最善ノ方法ヲ講ズルコト

- (三) 以上ノ目的ヲ完成スルタメ政府ニ於テ相當助成ノ途ヲ講ゼラレンコトヲ望ム
- (四) 帝國農會ハ右趣旨ノ實現ニ關シ政府ニ要請セラレンコトヲ望ム

▲關 東 區

一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持増進スルタメ適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

- (一) 自給肥料ノ改良増産ハ農業經營改善ノ基調ナルヲ以テ農家必須事項タルノ信念ヲ一層徹底セシメンガ爲左記事項ヲ實行スルコト
- (イ) 自給肥料ヲ主トスル合理的施肥法實地指導地ヲ設置スルコト
- (ロ) 農村中堅青年男女及農業補習學校等ノ活動ヲ特ニ促スコト
- (ハ) 農家組合ヲシテ自治的ニ實行ニ當ラシメルコト
- (ニ) 一齊運動ヲ農村ノ年中行事タラシムルコト
- (ホ) 優良事績ヲ調査シ之ガ表彰ヲ行フコト
- (ヘ) 關係機關ハ之ガ研究及指導獎勵ニ一層ノ努力ヲ爲スコト
- (二) 自給肥料改良増産獎勵ニ關スル經費ニ對シ之ガ助成ヲ厚クシ施設ノ徹底ヲ期スル様帝國農會

ヲ通ジ政府ニ要望スルコト

- (三) 農會ニ肥料專任職員ヲ設置スル爲之ガ助成ヲ帝國農會ヲ通ジ政府ニ要望スルコト

二、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及價格ノ低下ヲ圖ル爲適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

- (一) 關東區ニ於テ綠肥作物ノ原々種圃ヲ設置セラルル様帝國農會ヲ通ジ政府ニ要望スルコト
- (二) 各府縣ハ極力綠肥種子ノ自給ヲ圖ル方針ノ下ニ左ノ方策ヲ講ズルコト
 - (イ) 其ノ地方ニ適應スル綠肥作物ノ育種及採種圃ノ研究ヲ爲スコト
 - (ロ) 優良綠肥作物ノ原種圃竝採種圃ノ完備ヲ圖ルコト
- 右ニ對シ政府ニ於テ相當助成セラルル様要望スルコト
- (三) 帝國農會ハ綠肥種子主產地ノ生産調査ヲ行ヒ配給統制ニ努メラレタキコト

三、桑園整理ニ伴フ綠肥作物ノ栽培獎勵方法如何 (山梨縣農會提出)

〔決議〕

縣ニ依リ事情ヲ異ニスルヲ以テ研究問題トスルコト

▲北 陸 區

一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持増進スル爲適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

六

〔決議〕

(一) 自給肥料ノ改良増産ハ耕地愛護ノ精神ニ立脚シ信念ト興味トヲ以テ實行セシムルコト

(二) 自給肥料ノ改良増産ニ關シテハ絶ヘズ指導方法ニ嶄新ノ工夫ヲ凝ラシテ其ノ意氣ノ發揚ニ力ムルコト

(三) 自給肥料ノ經濟的竝ニ地力維持増進ニ及ボス效果ニツキ當業者ノ理解ヲ促スベキ方法ヲ講ズルコト

(四) 自給肥料増産ノ指導ハ専ラ農村中堅青年男女ニ力ヲ集注シ熱ト意氣トヲ活用シテソノ徹底ニカムルコト

(五) 自給肥料ノ改良増産ハ團體的ニ指導啓發シ之ヲ實行セシムルコト

(六) 關係機關ハ之ガ研究及指導獎勵ニ一層ノ努力ヲナスト共ニ政府ハ極力其ノ經費ニ對シ補助方法ヲ講ジ氣運ノ助長ニ努メラレ度キコト

以上ノ事項ヲ實行スルタメ左記ノ施設ヲ行フコト

(イ) 有畜農業ノ獎勵ニヨリ改良増産ヲ期スルコト

(ロ) 地方一齊運動トシ農村ノ年中行事タラシムルコト

(ハ) 實地指導地ヲ設ケ當業者ノ指導ニ當ルコト

(ニ) 品評會、競技會、視察會ヲ開催及篤農家ノ表彰等ヲ行フコト

二、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及ビ價格ノ低下ヲ圖ルタメ適切ナル方法ニ關スル件(帝國農會提出)

〔決議〕

(一) 綠肥ノ種類、栽培法ノ研究ヲナスト共ニ種子ノ改良増産ニ努メ生産費ノ低減ヲ圖ルコト

(二) 種子不足又ハ採種不能ノ場合ハ生産地ト適當ナル聯絡ヲ採リ委託採種圃ノ設置又ハ共同購入ノ方法ニ依リ種子需給ノ圓滑ヲ計ルコト

以上ノ目的ヲ完成スル爲政府ニ於テハ次ノ方法ヲ講ゼラレタキコト

(イ) 稻作ニ於ケル種子更新方法ト同様ニ綠肥作物種子ノ改良増産竝ニ優良種子ノ配給ヲナスコト

(ロ) 種子ノ取締方ニ付キ速カニ適當ナル方法ヲ講ゼラレタキコト

(ハ) 各種機關ノ聯繫ヲ圖リ商人ノ暴利牽制ヲナスト共ニ可成自給自足ノ方策ヲ採ラシメラレタキコト

三、積雪地方ノ綠肥作物栽培ニ關スル件 (福井縣農會提出)

〔決議〕

七

北陸地方雪害ハ其天候ノ特殊性ニ起因スルモノナルガ故ニ之ガ對策ノ研究ハ目下ノ急務ナリト信ズルヲ以テ左ノ方法ニヨリ目的貫徹ヲ期セントス

(一) 各地方試験場ハ地方適應品種ノ育成、栽培法ノ改善ニツキ縣、縣農會ト協力之レガ完成ニカ
ムルコト

(二) 政府ハ之ガ助成ニツキ一層ノ考慮ヲ拂ハレタキコト

(三) 帝國農會ハ右ノ實現方ヲ政府ニ要請シ其實現ヲ期スルコト

四、紫雲英雪害助成金急速交付方要望ノ件 (新潟縣農會提出)

〔決議〕

農業經營上自給肥料ノ必須ナル事既ニ明カナリ此ノ時ニ際シ北陸各地不慮ノ雪害ヲ被リ之レガ増殖ノ氣運ヲ妨ゲ又ハ種子配給ノ困難ヲ致セルコト多大ナリ今ヤ播種期切迫ノ際政府ハ速カニ之ガ助成ノ意志ヲ表明シ栽培増殖實施上支障ナカラシムルコトハ將ニ緊急ヲ要スル事項ナリト思考ス

依テ本協議會ノ決議ニヨリ帝國農會ヨリ關係各省ニ要請セラレンコトヲ望ム

五、自給肥料改良増産獎勵金ノ繼續且ツ増額交付要望ノ件 (同上)

〔決議〕

農村經濟ノ現況ニ鑑ミ最モ喫緊ノ事業トシテ實施セラレタル本施設ニ依リ自給肥料ノ必要有效ナル

ヲ當業者ニ痛感セシメ今ヤ其増殖ノ氣運漸ク旺盛ナラントスル秋之ガ助成ノ途ヲ中斷スルハ斯業ノ完成ヲ期スル上ニ至大ノ支障ヲ來スハ明ナルコトニシテ吾人ノ最モ遺憾トスルトコロナリ
依テ今後ニ於テモ尙之ヲ繼續實施アラントヲ望ム

▲東 海 區

一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持スルタメ適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

(一) 自給肥料改良増産獎勵費ハ匡救豫算トシテ計上シアルモ本事業ノ重要性ニ鑑ミ一層之ガ經費ヲ増額シ且ツ之ヲ恒久的豫算トシ益々本施設ヲ助長スル様帝國農會ヲ通シ政府ニ要望スルコト

(二) 自給肥料ノ改良増産ハ耕地愛護ノ精神ニ則リ信念ト興味トヲ以テ實行セシムルノ方法ヲ講ズルコト

右趣旨ヲ徹底セシムル爲左記事項ヲ實行スルコト

(イ) 團體綜合成績ノ向上ニ努メ特ニ農村中堅青年男女ノ活動ヲ促スコト

(ロ) 自給肥料増産ニ關スル一齊運動ヲ農村ノ年中行事タラシムルコト

(ハ) 自給肥料改良増産ニ關スル協會ヲ設置スルコト

- 二、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及價格ノ低下ヲ圖ルタメ適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)
- 三、桑園混作ニ適スル綠肥獎勵ノ件 (三重縣農會提出)

〔右二項ニ對スル決議〕

- (一) 帝國農會ハ綠肥種子ノ配給協議會ヲ開催シ種子配給ノ圓滑ヲ期スルコト
- (二) 政府ハ直營又ハ委託ニヨリ全国各地ニ適當ナル綠肥作物採種圃ヲ設置シ其ノ生産原種ヲ道府縣ニ配付シ種子改良増産ニ努ムルト共ニ優良種子ノ供給ヲ圓滑ニスルコト
- (三) 共同採種圃ノ設置又ハ自家採種ニ努ムルコト

▲近畿區

一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持増進スル爲適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

- (一) 自給肥料ノ改良増産ハ耕地愛護ノ精神ニ則リ信念ト興味ヲ以テ實行セシムルノ方法ヲ講ズルコト
- (二) 自給肥料ノ施用ニヨル生産費ノ低下竝地力維持増進ニ及ボス效果ヲ農家ニ會得セシムルノ方法ヲ講ズルコト

(三) 自給肥料改良増産ニ關スル指導獎勵ハ最實行力ニ富ム中堅青年男女ニ重キヲ置キ之レガ實行ノ中心タラシムルコト

(四) 自給肥料改良増産ハ農家組合ヲシテ自主的ニ之ヲ行ハシムルコト

二、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及價格ノ低下ヲ圖ル爲適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

- (一) 綠肥種子ハ自給自足ヲ原則トスルコト
 - (二) 綠肥作物採種適當地方ニ於テハ優良種子ノ生産増加ト其ノ生産費ノ低減ニ努ムルコト
 - (三) 綠肥作物採種不能地方ニ於テハ前項ノ如キ生産地ニ委託採種スルカ又ハ農家團體ニ依ル種子ノ共同購入ヲ行フコト
 - (四) 帝國農會ハ綠肥種子主產地ノ生産調査ヲ行ヒ配給統制ニ努メラレタキコト
- 右各項實行ノ爲左記事項ノ實現方ヲ帝國農會ヲ通ジ農林省ニ要望スルコト

(イ) 原々種ノ育成地ヲ増設セラレタキコト

(ロ) 種子取締法ヲ制定セラレタキコト

附帶決議

昭和八年ニ於テ決議セル三項ハ速ニ實現方要望ス

三、自給肥料改良増産ニ關スル匡救豫算ハ現下農山漁村經濟更生上ノ重要性ニ鑑ミ之レガ經費ヲ一層増額シ且恒久的助成ノ途ヲ講ゼラルル様帝國農會ヲ通ジ政府ニ要望ス（和歌山縣農會提出）

▲中 國 區

一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持増進スルタメ適切ナル方法ニ關スル件（帝國農會提出）
二、自給肥料改良増産模範施設町村（部落）ノ設置ニ關スル件（鳥取縣農會提出）

〔右二項ニ對スル決議〕

- (一) 自給肥料改良増産施設ハ常ニ農家ノ實情ニ順應セシムルヤウ其計畫工夫ヲ新ニスルコト
 - (二) 自給肥料ノ農家經濟ニ及ス效果及ビ肥料ノ價值ヲ農家ニ體得セシムルノ方法ヲ講ズルコト
 - (三) 自給肥料改良増産施用ニ關スル指導獎勵ハ特ニ農村中堅青年男女ニ重キヲ置キ之ガ實行ノ中心タラシムルコト
 - (四) 自給肥料改良増産ハ農家團體ヲシテ實行ニ當ラシムルコト
 - (五) 自給肥料改良増産ハ信念ト興味トヲ以テ實行セシムルノ方法ヲ講ズルコト
- 以上ノ事項ヲ實行ノ爲左記施設ヲ行フコト
- (イ) 自給肥料改良増産一齊運動ヲ農村ノ年中行事タラシムルコト

- (ロ) 自給肥料改良増産施用ノ實地指導
 - (ハ) 自給肥料改良増産品評會競進會等ノ開催
 - (ニ) 有畜農業ヲ獎勵シ自給肥料ノ改良増産ヲ期スルコト
- 三、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及價格ノ低下ヲ圖ルタメ適切ナル方法ニ關スル件（帝國農會提出）

〔決議〕

- (一) 適地適作主義ニ則リ綠肥作物採種適當ノ地方ニ於テハ共同採種圃ノ設置又ハ自家採種ニ努メ優良種子ノ生産増加ト其ノ生産費ノ低減ヲ計ルコト
 - (二) 綠肥作物採種不適當地方ニ於テハ前記ノ如キ生産地ヨリ農家團體ニヨル種子ノ共同購入ヲ行フコト
 - (三) 以上ノ種子ノ有無相通ズル場合ハ農家ノ相互扶助相互便益ヲ重ンズルコト
 - (四) 播種量多キ地方ハ之ヲ合理的ニ節約スルコト
- 以上各項實行ノ爲左記事項ノ實現方ヲ帝國農會ヲ通ジ農林省ニ要望スルコト
- (イ) 原々種ノ育成地ヲ増設セラレタキコト
 - (ロ) 種子取締法ヲ速ニ制定セラレタキコト
- 四、自給肥料改良増産ニ關スル匡救豫算ハ其ノ本質ノ重要性ニ鑑ミ一層増額シ恒久的助成ノ途ヲ講ゼ

ラルル様帝國農會ヲ通ジ農林省ニ要望スルコト (岡山縣農會提出)

一四

▲四 國 區

- 一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持増進スルタメ適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)
- 二、自給肥料改良増産獎勵費ニ關シ要望ノ件 (德島縣農會提出)
- 三、合理的施肥法實地指導地施設ニ關シ帝國農會へ要望ノ件 (同 上)
- 四、合理的施肥法實地指導地施設ノ繼續方ヲ帝國農會ヲ通ジ要望スルコト (高知縣農會提出)
- 五、自給肥料改良増産獎勵費ハ匡救豫算トシテ計上シアルモ現在ノ重要性ニ鑑ミ一層増額スルト共ニ之ヲ恒久的豫算ニ組ミ換ヘ益々之ガ施設ヲ助成スル様帝國農會ヲ通ジ要望スルコト (同 上)

〔右五項ニ對スル決議〕

- (一) 自給肥料改良増産獎勵費ハ匡救豫算トシテ計上シアルモ本事業ノ重要性ニ鑑ミ一層之ガ經費ヲ増額シ且ツ之ヲ恒久的豫算ニ組ミ換ヘ益々本施設ヲ助長スル様帝國農會ヲ通ジ政府ニ要望スルコト
- (二) 合理的施肥法實地指導地施設ハ效果頗ル多大ナルヲ以テ昭和十年度ニ於テハ一層之ヲ擴大シ恒久豫算中ニ計上スル様帝國農會ヲ通ジ政府へ要望スルコト

- (三) 自給肥料ノ改良増産ハ生産資源タル地力維持増進ノ精神ニ則リ大ナル信念ヲ基調トスルヲ以テ之ヲ涵養シ指導者自ラモ身ヲ以テ範ヲ示シ眞ニ興味ヲ以テ實行セシムルノ方法ヲ講ズルコト
- (四) 自給肥料ノ改良増産施設ハ常ニ其ノ計畫ヲ研究シ新ナル工夫ヲ凝ラシ農家ヲシテ永久之ガ實行ニ飽カシメザルコト
- (五) 農村中堅青年男女ニ對シ特ニ濃厚ニ指導獎勵ヲ加ヘ篤農示範ノ自任ヲ以テ實行ノ中心タラシムルコト
- (六) 自給肥料改良増産ハ農家團體ヲシテ自主的ニ協同共進ノ實ヲ舉ゲシムルコト
- (七) 自給肥料ノ施用ニヨル生産費低下及地力増進ノ效果ヲ普ネク農家ニ會得セシムルタメ可成的機會ヲ多クシ最善ノ方法ヲ講ズルコト
- 六、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及價格ノ低下ヲ圖ルタメ適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)
- 七、綠肥作物増産獎勵方法ニ關スル件 (愛媛縣農會提出)

〔右二項ニ對スル決議〕

- (一) 綠肥種子ハ自給自足ヲ原則トスルコト
- (二) 適地適作主義ニ則リ綠肥ノ採種適地ニ於テハ優良種子ノ生産増加ト之ガ生産費ノ低減ニ努ム

一五

- (三) 綠肥採種不能地方ニ於テハ前記ノ如キ生産地ヨリ團體的ニ種子ノ共同購入ヲ行フコト
 - (四) 帝國農會ハ綠肥種子ノ大量生産地ヲ調査シ配給統制ニ努メラレタキコト
 - 八、昭和九年度綠肥種子相場承リ度シ (高知縣農會提出)
- (各縣出席者ヨリノ説明アリタリ)

▲九州區

一、自給肥料改良増産施用ノ氣運ヲ維持増進スル爲適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

- (一) 自給肥料ノ改良増産ハ農業ノ本義ニ立脚シ勤儉力行ノ精神ヲ涵養スルト同時ニ信念ト興味トヲ以テ實行セシムルノ方法ヲ講ズルコト
- (二) 自給肥料ノ改良増産ニ關シテハ定メラレタル獎勵目標ニ依リ農家ノ實情ニ順應セシムル様其計畫工夫ヲ新ニスルコト
- (三) 自給肥料ノ農家經濟竝地力維持増進ニ及ボス效果及肥料の價值ヲ農家ニ體得セシムルノ方法ヲ講ズルコト

(四) 自給肥料改良増産ニ關スル指導獎勵ハ最モ熱ト力ニ富ミ研究的態度ニアル農村中堅青年男女ニ重キヲ置キ之ガ實行ノ中心タラシムルコト

(五) 自給肥料改良増産ハ農家團體ヲシテ協同的ニ實行ノ衝ニ當ラシムルコト
以上ノ事項ヲ實行スル爲左記ノ施設ヲ行フコト

- (イ) 自給肥料改良増産一齊運動ヲ農村ノ年中行事タラシムルコト
- (ロ) 自給肥料改良増産施用ノ實地指導地ノ設定
- (ハ) 自給肥料改良増産品評會、競進會、互評會、視察會ノ開催
- (ニ) 有畜農業ヲ獎勵シ自給肥料ノ改良増産ヲ期スルコト

二、自給肥料ノ改良増産ニ關スル事業ハ之ヲ恒久的施設トシテ獎勵セラルル様其筋へ要望ノ件 (佐賀縣農會提出)

三、自給肥料改良増産ニ關スル補助金ハ引續キ交附セラルル様農林省へ要望ノ件 (宮崎縣農會提出)

四、自給肥料改良増産獎勵金ノ交附ハ本年度限りナルモ農村ノ現狀ニ鑑ミ引續キ交附アル様農林省ニ要望ノ件 (熊本縣農會提出)

五、匡救事業トシテ自給肥料獎勵事業繼續方ヲ其筋ニ建議スルコト (福岡縣農會提出)

〔右四項ニ對スル決議〕

自給肥料改良増産普及徹底ハ農村經濟更生上喫緊ノ事項ニシテ曩ニ政府ハ農村匡救ノ對策トシテ之ガ助成ニ努メラレタルモ之ガ施設ハ今後一層重要ナルヲ認ムルヲ以テ政府ニ於テハ豫算ノ増額ヲ爲シ恒久的施設タラシムル様帝國農會ヲ通ジ農林省ニ要望ス

六、自給肥料ヲ本位トスル經濟的施肥法ノ改善指導地設置ニ關スル件 (長崎縣農會提出)

〔決議〕

自給肥料ヲ本體トスル經濟的合理的施肥改善ノ普及ヲ圖ル爲篤農家又ハ農事組合ヲシテ行ハシムル實地指導地ノ模範的施設ニ對シ政府ノ助成方ヲ帝國農會ヲ通ジ農林省ニ要望ス

七、綠肥作物種子ノ配給ノ圓滑及價格ノ低下ヲ圖ル爲適切ナル方法ニ關スル件 (帝國農會提出)

〔決議〕

(一) 適地適作主義ニ則リ綠肥作物採種適當地方ニ於テハ優良種子ノ生産増加ト其生産費ノ低減ニ努ムルコト

(二) 綠肥作物採種不能地方ニ於テハ前項ノ如キ生産地ヨリ農家團體ニ依ル種子ノ共同購入ヲ行フコト

(三) 以上種子ノ有無相通ズル場合ハ農家ノ相互扶助相互便益ヲ重ズルコト
右各項ノ實行ノ爲左記事項ノ實現方ヲ農林省並帝國農會ニ要望スルコト

(イ) 原々種ノ育成地ヲ増設セラレタキコト

(ロ) 種子ノ取締法ヲ速ニ制定セラレタキコト

(四) 輸入スル青刈大豆用種子ヲ帝國農會幹旋所及全購聯ニ於テ統制シ優良種子ヲ安價ニ得ラルル方途ヲ講ゼラレタキコト

八、自給肥料ノ給源トシテ菜種程ノ利用普及ノ方法如何 (福岡縣農會提出)

〔決議〕

菜種程堆肥製造ノ成績ヲ明ニシ其普及徹底ニ努ムルコト

九、麥作ニ對スル間作トシテノ綠肥栽培ノ良法如何 (福岡縣農會提出)

〔決議〕

之ガ試験研究ヲ一層農事試驗場ニ於テ行フコト

三 自給肥料改良増産施用獎勵優良農會ノ表彰

帝國農會ニ委託シ各道府縣ニ於ケル自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關シ優良ナル成績ヲ擧ゲタル郡市町村農會ヲ選拔表彰スルト共ニ其ノ事績ヲ輯録刊行シ他ノ範タラシメタリ。

表彰ヲ受ケタル郡市町村農會ハ次ノ如シ

道府縣名	農會名	道府縣名	農會名
青森	津輕郡花田村農會	兵庫	水上市郡越智岡村農會
岩手	西磐井郡花泉村農會	和歌山	高市郡長岡村農會
宮城	加美郡小麻村農會	奈良	那賀郡山崎村農會
秋田	由利郡小出村農會	島根	那賀郡今福村農會
山形	東田川郡黃金村農會	鳥取	能義郡母里村農會
福島	河沼郡金山村農會	廣島	久米郡打穴村農會
茨城	久慈郡北押原村農會	岡山	比婆郡伊勢村農會
栃木	上野郡富岡村農會	山口	玖珂郡久野村農會
群馬	多野郡富岡村農會	香川	阿波郡淺野村農會
千代田	君津郡富岡村農會	愛媛	高知郡窪田村農會
神奈川	南多摩郡生田村農會	高松	周桑郡庄内村農會
新潟	高座郡大野村農會	福井	吾川郡八田村農會
石川	中頸郡高波村農會	佐賀	宗像郡津浦村農會
富山	羽咋郡粟ノ保村農會	長崎	壹岐郡柳井村農會
山梨	大野郡上庄村農會	大分	下毛郡真坂村農會
長野	北巨摩郡篠尾村農會	宮崎	南那珂郡農會
岐阜	北佐久郡志賀村農會	鹿兒島	出水郡野田村農會
長野	惠那郡富丘村農會	北	雨龍郡妹背牛村農會
岐阜	富土郡富丘村農會	沖繩	中頭郡美里村農會
滋賀	阿蘇郡高岡村農會		
三重	碧海郡高岡村農會		
愛知	碧山郡高岡村農會		
滋賀	阿蘇郡高岡村農會		
大津	南河内郡喜志村農會		

四 春播綠肥ノ改良増産普及宣傳

(一) 春播綠肥ノ栽培獎勵

春播綠肥ノ栽培獎勵ニ關スルポスターヲ作製シ全國市町村ニ配付シ春播綠肥ノ栽培普及獎勵ニ努メタリ

(二) 春播綠肥種子ノ需給狀況及價格ノ調査速報

昭和十年二月及三月ノ二ヶ月ニ亘リ一ヶ月二回乃至三回全國各府縣ニ於ケル春播綠肥種子ノ生産、消費及配給狀況並市價ヲ調査シ之ヲ「春播綠肥種子速報」ヲ以テ各府縣廳、府縣農事試驗場、府縣都市農會其ノ他各關係方面ニ通報シ綠肥種子ノ配給ヲ圓滑ナラシムル資トナセリ

(三) 朝鮮ニ於ケル青刈大豆種子ノ需給及取引狀況調査

帝國農會ニ委託シテ帝國農會及全國購買組合聯合會ノ係員各一名ヲ朝鮮ニ派遣シ同地ニ於ケル青刈大豆種子ノ生産及取引狀況ヲ調査セシメ其ノ調査報告ヲ印刷シ關係各方面ニ配付セリ

道府縣ニ於テ自給肥料改良増産獎勵金ノ交付ヲ受ケテ施行シタル事業成績概要

▲北海道

一 堆肥共勵會助成 施行方法

郡農會(未ダ郡農會ノ設立ナキ根室支廳管内ノ根室町農會外三村農會ハ町村農會聯合)ヲ助成シテ町村農會ノ豫選ニ係ル農事實行組合ヲ出品單位トシ(一町村一組合、特別ノ事情アル町村ハ二組合)本廳、支廳、農事試驗場、同支場及郡農會ノ關係職員ヲ審査員トシテ堆肥共勵會ヲ開催セシム

事業成績

○郡農會主催ノモノ

- 助成ヲ受ケタル郡農會數 一四
- 出品町村數 一九五
- 出品組合數 二二二(前年度ニ比シ一割七分増)
- 出品農家戸數 四、六一九(前年度ニ比シ二割一分増)
- 出品堆肥數量 總量 四二、一六六、八五一貫(前年度ニ比シ二割二分増)
- 出品者一戸當 九、一二八貫(前年度ニ比シ八分増)
- 出品者耕地反當 二二一貫(前年度ニ比シ一割九分増)

○町村農會聯合主催ノモノ

- 助成ヲ受ケタル町村農會數 二
- 出品組合數 一〇
- 出品農家戸數 二二〇
- 出品堆肥數量 總量 一、二三八、三五一貫
- 出品者一戸當 六、〇三八貫(前年度ニ比シ一八・三割増)
- 出品者耕地反當 七三貫(前年度ニ比シ一四・三割増)

本施設實施ノ效果

郡農會主催ノモノノ本年度成績ヲ前年度ニ比較スルニ、出品農家戸數ニ於テ二割一分、出品堆肥總量ニ於テ二割二分ヲ増加シ好成績ヲ示セリ 又堆肥場ノ改善ヲ促シ、コンクリート床ヲ設置セルモノ棟數ニ於テ四割、坪數ニ於テ四割四分増加シ、粘土叩床ヲ設置セルモノモ相當増加ヲ示シタリ又町村農會聯合ノモノノ本年度成績ヲ前年度ニ比較スルニ出品者一戸當生産量ニ於テ一八・三割、同反當施用量ニ於テ一四・三割ノ増加ヲ示シ堆肥ノ増産及品質ノ改善ニ益スル所甚大ナルモノアリタリ

二 綠肥採種共勵會助成

施行方法

郡農會又ハ町村農會聯合ヲ助成シ農事實行組合ヲ出品單位トシ本廳、支廳及郡農會ノ關係職員ヲ
審査員トシテコンモンヴェツチ及赤クローバーノ採種圃(立毛狀態ニ付キ)共勵會ヲ施行セシ
ム

事業成績

○郡農會主催ノモノ

助成ヲ受ケタル郡農會數

二

出品町村數

二九

出品組合數

四八

○町村農會聯合主催ノモノ

出品町村數

二

出品組合數

六

本施設實施ノ效果

郡農會主催ノモノノ中十勝郡農會ニ於テハ前年度共勵會ニ於テハ出品組合數一九、出品一組合當
平均綠肥栽培面積七町之ガ農家一戸當平均四・一反ナリシガ本年度ニ於テハ出品組合數三八(前年

度ニ比シ一〇割増)、出品一組合當平均綠肥栽培面積七・九町(前年度ニ比シ一・五割増)ニ達シ又
天鹽郡農會ニ於テハ出品町村一町村當平均綠肥栽培面積五・一町之ガ出品組合一組合當平均四反
ナリシガ本年度ニ於テハ出品町村一町村當平均綠肥栽培面積六・八町(前年度ニ比シ三・三割増)之
ガ出品組合一組合當六・八反(前年度ニ比シ七割増)トナリ甚ダ顯著ナル成果ヲ收メタリ

三 綠肥採種圃經營助成

施行方法

町村農會ヲシテコンモンヴェツチ及赤クローバーノ採種圃ヲ經營セシメ採種圃反當十圓以内ノ助
成金ヲ交付ス

事業成績

綠肥種類	助成ヲ受ケタル町村農會數	採種圃面積	採種量	同上配付種子量	同上栽培面積
赤クローバー	三一	二三・七町	一、九三八斤	一、〇三七斤	五五・九町
コンモンヴェツチ	三一	一三・六	八六・二八石	三五・八四石	四一・七
計	三一	三七・三			

種子配付先農事實行組合數

五〇〇

四 綠肥種子購入配付助成

施行方法

郡農會及町村農會ヲ助成シテ管内農事實行組合ノ綠肥共同採種圃ニ於テ栽培スルコンモンヴェツチ及赤クローバーノ種子ヲ購入配付セシム

事業成績

綠肥種類	助成ヲ受ケタル郡町村農會數	購入配付種子數量
コンモンヴェツチ	1	一三・五六石
赤クローバー	1	二六・〇六斤
計	〔郡農會〕 〔町村農會〕 二〇	

種子配付先農事實行組合數〔赤クローバー〕 六〇五
〔コンモンヴェツチ〕 六〇五

五 自給肥料改良増産講習會講話會助成

施行方法

郡農會及町村農會ヲ助成シテ自給肥料改良増産講習會及講話會ヲ開催セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數 六

開催個所數 三二

聽講者員數

六 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

印刷物ノ作製配付及指導督勵

▲青 森 縣

一 自給肥料改良増産指導督勵班設置

施行方法

郡市町村農會ノ技術員及各市町村ニ設置セラレタル指導督勵員等ヲ以テ郡單位(市ハ近接郡ニ含マシム)ニ自給肥料改良増産指導督勵班ヲ縣下ニ八班組織シ各受持區域内ニ於テ縣ノ獎勵方針ニ基キ市町村及郡市町村農會ト協力シ自給肥料改良増産指導督勵ヲ行ハシム

事業成績

指導督勵員設置町村數 一一七

指導督勵員數 二四〇(一人年額二・七〇圓ノ手當支給)

指導督勵班ノ行ヒタル事業

○講習會及協議會開催

開催 個所數

八(一郡一個所)

開催 日數

一六(一個所二日)

聽講者員數

一、二〇〇

○自給肥料施用方法實地指導座談會開催

開催 町村數

三〇

本施設實施ノ效果

良ク統制ヲ保チ各地方毎ニ適切ナル自給肥料改良増産施用改善ノ指導ヲ徹底セシメ堆肥ノ品質ハ
大イニ改良セラレ其ノ生産量五〇〇萬貫以上ヲ増加セリ

特ニ本年ハ冷害ノ爲凶作ナリシガ自給肥料ノ適量ヲ施用セル合理的施肥ヲ行ヒタルモノハ一般ニ
好成绩ヲ收メタリ

二 綠肥採種圃ノ設置

施行方法

農事實行組合及養蠶業實行組合ニ委託シ青刈大豆ノ採種圃ヲ設置シ生産種子ヲ農家ニ無償配付
ス

事業成績

採種圃設置個所數

六八

採種圃面積

八〇反

同上種子生産量

六七・〇五石

同上種子栽培面積

一四〇町

本施設實施ノ效果

採種圃ヨリ生産配付セル種子ノ栽培成績ヲ見ルニ何レモ成績良好ニシテ自家採種圃ニ栽培セルモ
ノ平均反當採種量八斗以上、間作トシテ栽培セルモノ平均反當生草收量約四〇〇貫、苹果園下作
トシテ栽培セルモノハ鳥害ヲ被リタルモ平均反當生草收量二〇〇貫以上ヲ收穫セリ

三 綠肥種子購入配付

施行方法

紫雲英種子ヲ購入シ郡農會及町村農會ヲ經由シ農家ニ無償配付ス

事業成績

購入配付種子數量

一・五石

同上栽培面積

六七反

四 自給肥料改良増産督勵

施行方法

縣其ノ他農事關係職員各指導區ヲ分擔シ講習講話及實地指導ニ當レリ
 經濟更生計畫樹立町村ニ於テハ自給肥料改良増産ヲ必行事項トシテ實行セシメ之ガ指導督勵ニ努
 メタリ
 印刷物ヲ作製配付セリ

▲岩 手 縣

一 堆肥製造週間

施行方法

各郡市農會ヲシテ農家作業上適當ナル時期ニ於テ一週間ヲ堆肥積込週間ト定メシメ、此期間中協
 議會、講習講演會ノ開催、印刷物ノ作製配付、町村役場ニ標識旗ヲ掲揚、警察關係ニ於テ宅地清
 掃週間ヲ行フ、學校生徒ヲ通ジテ其ノ家庭ニ趣旨ノ普及徹底ヲ圖ルト共ニ上級生徒ニハ學校ニ於
 テ堆肥積込ノ實地指導ヲ行フ、郡市農會ニ於ケル堆肥増産普及施設ノ助成、各郡市毎ニ週間實施
 成績優良ナル一町村農會ノ選賞等ノ施設ヲ行ヒ堆肥製造實行ノ徹底ヲ期セシム

事業成績

製造週間ヲ實施セル郡市農會數

一市一三郡

週間中堆肥積込數量

八一、三四五立坪

週間外堆肥積込數量

五三、一九四立坪

計

一三四、五三九立坪(昭和八年度ニ比シ 二七、五一七立坪ノ増加)

二 綠肥種子購入助成

施行方法

郡市農會又ハ町村農會ヲシテ綠肥種子ヲ共同購入セシメ其ノ種子代ノ二割以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル農會數

郡農會 九

村農會 八

共同購入種子量

綠 肥 種 類	共同購入種子量
紫 雲 英	一七四・八〇石
ザイトウキツケン	二・四〇
ヘアリーヴェッチ	〇・一四
計	一七七・三四

三 サートウキツケン種子無償配付

施行方法

紫雲英栽培不能ノ縣北三郡ニ對シ畑作サートウキツケン種子ヲ無償配付ス

事業成績

無償配付種子量

三・九石

四 紫雲英品評會助成

施行方法

紫雲英栽培地方郡農會ヲ助成シテ紫雲英立毛品評會ヲ開催セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數

一〇

出品點數

五二八

授賞點數

二七一

出品紫雲英栽培面積

四〇〇反

同上紫雲英收量

一九七、〇四九貫(反當收量最高一、八四三貫
平均四九三貫)

▲宮城縣

一 綠肥種子共同購入助成

施行方法

郡市農會ニ於ケル紫雲英、サートウキツケン及ヘアリーヴェツチ種子共同購入費ニ對シ一石當五圓以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

一八

共同購入種子量

綠肥種類	共同購入種子量	同上栽培面積
紫雲英	八二二・二六五石	三、三九八・九八町
サートウキツケン	三八一・三一〇	一、六四七・三八
ヘアリーヴェツチ	一〇・二〇〇	五〇・三七
計	一、二一三・七七五	五、〇九六・七三

▲秋 田 縣

一 堆肥製造實地指導地設置助成

施行方法

郡農會ヲシテ速成堆肥製造團地實地指導地(部落區域)ヲ設置シ之ガ生産施用ニ關スル諸般ノ實地指導ヲ行ハシメ一部落當八圓ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數

九

實地指導地設置個所數

二七(部落數二五)

二 堆肥品評會助成

施行方法

郡市農會、町村農會又ハ其ノ聯合ヲシテ市町村農會支會又ハ之ニ準ズル團體ヲ出品單位トスル堆肥品評會ヲ開催セシメ、出品區域内ノ田畑面積一千町步迄三十圓以内、一千町步ヲ超ユルトキハ五百町步毎ニ五圓以内ヲ増加シ最高二百圓限度ノ標準ヲ以テ賞品費ヲ助成ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡町村農會數

郡農會 八 町村農會 二〇 町村農會聯合 一

出品點數 二、〇九二

授賞點數 四〇二

出品堆肥數量

總量 六二、九一五、〇七〇貫

出品者一戸當 最多 一二、〇三六貫 最少 一、五二三貫

出品者耕地反當 最多 七三五貫 最少 一一八貫

郡町村農會經費決算額 三、〇〇三圓餘

助成金交付額 一、九五五圓

三 紫雲英栽培實地指導地設置助成

施行方法

郡市農會ヲシテ紫雲英栽培團地實地指導地(二反步以上)ヲ設置セシメ一個所當五圓ノ助成金ヲ交付ス

事業成績



助成ヲ受ケタル郡農會數 九
實地指導地設置個所數 五九

四 紫雲英競作會助成

施行方法

市町村農會ヲシテ昭和八年播種ノ紫雲英ニ付競作會ヲ開催セシメ之ガ授賞費ヲ助成ス

事業成績

助成ヲ受ケタル町村農會數	二九
出品點數	七〇八
授賞點數	三七一
出品紫雲英栽培面積	八九・一九町
出品紫雲英收量	五七七・七〇九貫
町村農會經費決算額	六四七圓餘
助成金交付額	一九〇圓

五 自給肥料改良増産指導督勵普及宣傳

施行方法

實地督勵及印刷物ノ作製配付

以上各施設實施ノ效果

不況時ニ處スルノ策トシテ醸成セラレタル堆肥改良増産ノ機運ハ助成ニ依リ一層刺戟セラレ急加速度ヲ以テ増進シ昭和九年度ニ於テハ耕地反當堆肥施用量二百六十九貫ニ達シ前年度ニ比シ三十一貫ヲ増シ、而モ堆肥品評會ニ於テ團體出品ノミヲ助成セル結果、團體員ノ共同精神ヲ喚起シ講習及實地指導等ト相俟ツテ瀝汁溜ノ新設、切返作業ノ改良等ニ依テ品質改善ノ實舉ガリ地力ノ維持増産、農産物生産費低減ニ資セシ所大ナリ又本縣ニ於ケル紫雲英ハ從來積雪ノ爲栽培殆ンド不可能ト認メラレシ所ナルガ根瘤菌ノ配付利用及栽培法ノ指導ト相俟ツテ各地ニ之ガ栽培ノ可能ナルコトヲ認識セシメ、種子ノ無償配付ハ栽培氣運ヲ濃厚ナラシメ其ノ栽培面積四百九十町歩餘ニ至レリ

▲山形縣

一 紫雲英採種圃設置助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シ紫雲英（山形一號及山形二號）採種圃ヲ設置シ生産種子ヲ部内町村農會又ハ農

事實行組合等ニ配付セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

三市十一郡農會

採種圃設置狀況

品 種 名	採種圃面積	採 種 量	配付種子量	同上種子栽培面積
山 形 一 號	二三・七三町	一〇六・一六石	一〇三・四四石	八六二・〇町
山 形 二 號	一〇・八一	四七・六八	四六・一六	三八四・六
計	三四・五四	一五三・八四	一四九・六〇	一、二四六・六

二 桑園間作ヘアリーヴェツチ種子購入配付助成

施行方法

郡市農會又ハ郡市養蠶業組合ヲ助成シ桑園間作綠肥ヘアリーヴェツチ種子ヲ部内養蠶實行組合ニ

購入配付セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル團體數

一、〇九二

種子ノ配付ヲ受ケタル團體數

一、〇九二

購入配付種子量

七四・五二石

同上種子栽培面積

七四五・二町

以上施設實施ノ效果

紫雲英及ヘアリーヴェツチノ自家採種ヲ行フ者漸次増加シ、昭和九年ハ稀有ノ冷害ノ爲採種量減少シタルモ、紫雲英播種總量二百九十二石ノ内百五十五石ハ地種子ニシテ、ヘアリーヴェツチハ總播種量七十六石ノ内二十五石ハ地種子ノ占ムル處ナリ

三 自給肥料改良増産協議會開催助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シテ自給肥料改良増産協議會ヲ開催セシム

助成ヲ受ケタル郡市農會數

一二

出席者員數

八五〇

▲福 島 縣

一 自給肥料増産實行委員設置

施行方法

一市町村當二名乃至七名ノ精農家ヲ選拔シ自給肥料増産實行委員ヲ囑託シ自給肥料改良増産普及獎勵ニ從事セシメ一人當年手當二圓ヲ支給ス

事業成績

實行委員設置町村數

三六九

本施設實施ノ效果

右實行委員ハ縣及郡市農會ガ各地方ニ開催シタル堆肥改良増産講習會ニ出席シ之ガ實地指導ノ任ニ當リ、又郡市農會ノ堆肥週間實施等ニ際シテハ町村內各機關ト郡市農會等トノ連繫ヲ密接ナラシムル等獎勵方針ノ迅速ナル普及徹底ニ努メ前年度ニ比シ一層良好ナル成績ヲ收ムルヲ得タリ

二 自給肥料増産實行委員協議會

施行方法

各郡每(市ハ隣接郡ニ合併)二年一回自給肥料増産實行委員、市町村勸業主務者及縣郡市町村(農會ヲ含ム)技術員ヲ招集シ自給肥料増産獎勵ニ關スル縣方針ノ徹底ト相互連絡ヲ圖ル爲協議會ヲ開催ス

事業成績

協議會開催郡數

一七

開催個所數

一七

三 自給肥料改良増産獎勵施設助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シ講習會、堆肥積込週間、堆肥及紫雲英競進會其ノ他自給肥料改良増産獎勵上必要ナル施設ヲ行ハシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

三市一七郡農會

同上郡市農會經費決算額

三、五八一・四六圓

助成金ヲ受ケテ實施セル施設

○講習會

開催セル郡市農會數

三市一七郡

開催個所數

一九三

開催延日數

二六三

聽講者員數

一五、七八二

○堆肥積込週間
實施セル郡市農會數 三市一七郡

○堆肥競進會

開催セル郡市農會數 二市一三郡

參加町村數 二六五

出品點數 七、六九五

授賞點數 二、五六三

○水田裏作紫雲英競進會

開催セル郡市農會數 二市九郡

參加町村數 一七四

出品點數 二、八八六

授賞點數 八六七

四 桑園間作綠肥共同採種圃助成

施行方法

養蠶實行組合又ハ農事實行組合ヲ助成シ桑園間作ザイウキツケン及ヘアリーヴエツチノ共同採種

圃(一組合一反歩以上)ヲ設置セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル組合數 一〇六
〔養蠶實行組合〕
〔農事實行組合〕 二六

採種圃設置狀況

綠肥種類	採種圃面積	採種量
ザイトウキツケン	一一九・六反	九二・七七石
ヘアリーヴエツチ	一一・四	六・四六
計	一三二・〇	九九・二三

五 自給肥料改良増産督勵

施行方法

獎勵委員ノ設置(縣及農事試驗場職員ヲ獎勵委員ニ任命ス)・印刷物ノ配付・標語、ポスター及宣傳歌ノ募集

以上各施設實施ノ效果

農會其ノ他各種產業團體、學校及青年團等ノ自給肥料増産獎勵ニ關スル活動ヲ喚起シ、一般農家

ノ自給肥料ニ對スル認識ヲ高メ、農家經濟ニ好影響ヲ與ヘタルハ次表ニヨリ之ヲ認ムルヲ得

事項	年次	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年
堆肥生産量		一九〇、一九、〇〇貫	三三、五、一、六四貫	二四三、〇、四、七八貫	三六五、九、三、四五貫
堆肥舍數		二、八八棟	二、八二棟	三、八八棟	一三、八、六棟
紫雲英作付反別		五、四四町	六、八〇町	七、八〇町	七、四四町
間作綠肥作付反別		二、七町	一、〇九町	一、八三町	一、六三町
金肥消費量		八、五〇越	八、九二越	八、八七越	

茨城縣

一 堆肥指導員養成講習會開催並堆肥指導員設置

施行方法

町村農會長ノ推薦ニヨル堆肥指導員候補者（之ニ町村技術員、農會職員、農業教員及一般當業者ヲモ加フ）ニ對シ各郡一ヶ所速成堆肥實地講習會ヲ開催シ、指導員候補者中所定ノ講習ヲ修了シタル者ニ對シ縣堆肥指導員ヲ囑託シ之ニ堆肥指導員制服ヲ給與ス

事業成績

講習會開催個所數

一四（各郡一ヶ所、一個所二日間）

講習者員數

一、二二〇（内堆肥指導員 二四九 其ノ他 八七一）

二 堆肥品評會助成

施行方法

町村農會ヲシテ個人或ハ組合ヲ出品單位トスル堆肥品評會ヲ開催セシメ入賞者ニ對シ縣特別賞トシテ三ツ組木杯及アルミ製湯沸ヲ授與ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

二二八

出品點數

二二、八七一

授賞點數

六、三三三

縣特別賞授與數

三ツ組木杯

二八六組

アルミ製湯沸

三、二三八個

出品堆肥數量

四五、七七六、七七〇貫

三 印刷物ノ作製配付

▲ 栃 木 縣

一 簡易堆肥舎建設助成

施行方法

縣ノ指定條件ヲ具備セル簡易堆肥舎ノ建設ニ對シ一棟ニ付十二圓(建設費坪當四圓其ノ二分ノ一)ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケテ建設シタル堆肥舎棟數

八二八

同上 總 坪 數

六、〇八一

同上 建設費總額

四三、〇五六圓

助成金交付額

九、九三六圓

同上堆肥舎ニ於ケル堆肥生産量

約 八、三〇〇千貫

本施設實施ノ效果

昭和七年以降三ヶ年間に助成ヲ受ケ建設シタル堆肥舎總數二、七五七棟ニ達シ、一棟當一年間ノ堆肥生産量三、〇〇〇貫ト見做ストキハ全體ニテ約八〇〇萬貫以上ヲ生産スルコトトナリ堆肥ノ品質向上ト共ニ肥料經濟上多大ノ效果ヲ收メタリ

▲ 群 馬 縣

一 自給肥料生産改良施設助成

施行方法

農事組合又ハ農業者五人以上共同シテ毎戸ニ「堆肥堆積地盤」又ハ「糞糞貯藏壺」又ハ「草木灰貯藏壺」ヲ設置スル場合一施設ニ付其ノ經費ノ二分ノ一、一〇圓以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル團體數

八六

助成ヲ受ケタル人員

六〇二

所要 經費

一〇、六九一・一五圓

助成金交付額

二、四三〇圓

助成ヲ受ケタル施設

○堆肥堆積地盤設置

助成ヲ受ケタル人員

四五四 (一人當坪數五・五八坪)

設置個所數

四五五

同上總坪數

二、五三四・八五坪 (一個所當坪數五・五七坪)

同上經費決算額

七、九六七・三八圓 (一坪當經費三・一四圓)

堆肥堆積量

二、二六六、五二三貫

○蠶糞、草木灰貯藏壺設置

助成ヲ受ケタル人員

一七七 (一人當個數一・三個)

設置個數

二三五

同上總容積

一八、六三四立方尺 (一個當容積七九立方尺)

同上經費決算額

二、六二三・七七圓 (一個當經費一・一六圓)

蠶糞又ハ草木灰貯藏量

二三四、六五〇貫

本施設實施ノ效果

本年助成ヲ受ケタルモノヲ通ジ堆肥堆積地盤ニ於テハ一個年二百二十六萬貫餘ノ堆肥ヲ處理シ設

置前施設ノ不備ニ依ルニ二萬餘圓ニ相當スル肥料價值ノ損失ヲ防止シ得ラレ又貯藏壺ニ於テハ一個年二十三萬貫餘ノ蠶糞、草木灰類ヲ貯藏シ設置前施設ノ不備ニ依ル約七千七百餘圓ニ相當スル肥料價值ノ損失ヲ防止シ得ラルル見込ナリ之ヲ施設者一人當ニ就テ見レバ堆積地盤ニ於テハ一個年五千貫ノ堆肥ヲ處理シ約四十五圓餘ノ利益ヲ得又貯藏壺ニ於テハ一千三百餘貫ノ蠶糞、草木灰類ヲ貯藏シ四十四圓餘ノ利益ヲ得ラルルコトトナル

二 自給肥料改良増産共進會助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ郡市農會ヲシテ町村農會、農事組合又ハ二十人以上ノ團體ヲ出品單位トシ郡一圓ヲ出品區域トスル自給肥料改良増産共進會ヲ開催セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

二市一郡農會

出品團體數

農事組合
町村農會
其他

一三八
六七
一八

出品ハ一三五市町村三三、九一三戸農家ニ
互リ其ノ耕地面積三六、三七九町ニ達ス

出品團體ニ於ケル自給肥料改良増産施設

堆肥堆積場設置

一〇九、五三六坪

肥溜設置箇數 五五、四四七
 糞糞、草木灰貯藏壺設置箇數 三八、三七〇
 其ノ他ノ施設

綠肥品評會・堆肥品評會・綠肥種子共同購入・綠肥採種圃設置・綠肥栽培試驗地設置・畜舎、肥溜ノ改良増設・堆肥舎改善・堆肥舎建設・實地指導・講習講話研究座談會ノ開催・印刷物ノ配付

縣市農會經費決算額 一、二一五圓
 助成金交付額 一、〇〇〇圓

本施設實施ノ效果

出品團體ニ於ケル自給肥料生産高ハ堆肥 八四、三六五千貫(前年ニ比シ増産量一二、四〇五千貫)・綠肥二七、二二六千貫(前年ニ比シ増産量四、六五七千貫)・其ノ他三三、九九八千貫(前年ニ比シ増産量三、七八〇千貫)・計一四五、五八九千貫(前年ニ比シ増産量二〇、八四二千貫)ニ達シ、金肥約十五萬圓ヲ節約シ、之ヲ耕地一反當ニ就テ見ルニ自給肥料増施高五十七貫餘、金肥節約額四十錢餘トナリ、一農家當ニ就テ見レバ自給肥料六百十五貫ヲ増産シ、金肥四圓三十錢餘ヲ節約セリ

三 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

縣農務課、蠶糸課、經濟更生課、農事試驗場、蠶業試驗場、縣農會及縣購買組合聯合會等ニ於ケル關係者中ヨリ指導督勵員三十六名ヲ任命又ハ囑託シ指導督勵ニ從事セシメタル外印刷物ノ配付、講習講話、實地指導等ヲ行ヒタリ

▲埼 玉 縣

一 堆肥堆積盤設置助成

施行方法

農事組合ニ於テ組合員十五人以上ガ各戸ニ堆肥堆積盤ヲ設置スル場合其ノ設置費ニ對シ坪當二圓以內ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル農事組合數 一三
 堆肥堆積盤設置個數 二二七
 同 上 坪 數 一、三二〇・六坪

同上經費總額
助成金交付額

五、二五〇圓
二、一六〇圓

本施設實施ノ效果

昭和七年度以來三ヶ年繼續シテ縣下五二ヶ町村ニ集團的ニ設置セシメタル結果農家ハ堆肥ノ本質ヲ了得シ熱心ニ之ガ利用ニ努メ精神ノ緊張ト經濟改善トニ效果顯著ナリシ爲全縣ノ農家ヲ刺戟シ堆肥増産ニ對シ必須事項ナルヲ認識セシメ縣ノ助成ノ有無ニ關セズ町村又ハ郡市町村農會ニ於テ助成金ヲ計上スルモノ又農事組合ニ於テ共同作業又ハ共同販賣ニ依ル利益金ノ積立ヲ行フモノ、無盡式積立金ヲ行フモノ或ハ獨力ニテ設置スルモノ等増加シ既ニ完成セルモノ四五〇ヶ所ニ及ブ

二 綠肥種子共同購入助成

施行方法

郡市農會又ハ縣購買組合聯合會ニ於テ綠肥種子ノ共同購入ヲ行フ場合種子購入費ノ五分ノ一以內、一石ニ付二圓限度ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル團體數
共同購入種子量

九郡農會

綠肥種類	共同購入種子量	同上栽培面積
青刈大豆	三〇・八七〇石	一二五・九〇町
紫雲英	六・三六〇石	二二・三〇〇町
ザイトウキツケン	三六七・八一〇石	七七二・三〇〇町
蠶豆	四一・〇二四石	一、八三四・〇七町
ヘアリーヴェツチ	九八・九三〇石	三九〇・二〇町
計	一七・九三〇石	二二・四〇町
	七〇〇石	一七・〇〇町
	九三三・六二四石	三、一八四・八七町

同上購入種子代
助成金交付額

二七、三四八・七七圓 (内運賃諸掛 一、六四一・〇二圓)
一、六一〇圓

本施設實施ノ效果

各種機關敏活ナル連絡ヲ計リ助成金ノ交付ニカヲ得テ縣内種子需要量ノ六割ヲ取纏メ市價ノ牽制、菌核防除等ニ效果ヲ收メタリ又綠肥作物ノ生育概シテ良好ナリシ爲肥料費節約上顯著ナル效果ヲ收メ綠肥ニ依ル水田裏作及休閑地利用ノ利益大ナルヲ認識セシメタリ

三 綠肥施用團地指導田設置

施行方法

縣下三個所ニ紫雲英施用圃地指導田ヲ設置ス

事業成績

指導田設置個所數 三
 同上團員數 七〇
 指導田面積 四八・二八町
 指導田成績

事項	指導地名	
	指導田	在來田
反當金肥代	北埼玉郡水深町 油井ヶ島農事組合	北埼玉郡大田村 若小玉六本木農事組合
	二・七〇圓	四・三〇圓
反當玄米收量	北埼玉郡水深町 油井ヶ島農事組合	北埼玉郡大田村 若小玉六本木農事組合
	一・八三石	一・七二石
玄米検査等級	北埼玉郡水深町 油井ヶ島農事組合	北埼玉郡大田村 若小玉六本木農事組合
	四五等 四五等 四五等 外等	四五等 四五等 四五等 外等
指導田	北埼玉郡水深町 油井ヶ島農事組合	北埼玉郡大田村 若小玉六本木農事組合
	二・五〇〇%	三・二五圓
在來田	北埼玉郡水深町 油井ヶ島農事組合	北埼玉郡大田村 若小玉六本木農事組合
	三〇%	二・四七石
指導田	北埼玉郡水深町 油井ヶ島農事組合	北埼玉郡大田村 若小玉六本木農事組合
	四五等 四五等 四五等 外等	四五等 四五等 四五等 外等
在來田	北埼玉郡水深町 油井ヶ島農事組合	北埼玉郡大田村 若小玉六本木農事組合
	三〇%	二・三六石
指導田	南埼玉郡荻島村 立野前谷農事改良組合	南埼玉郡荻島村 立野前谷農事改良組合
	二・九〇圓	二・九〇圓
在來田	南埼玉郡荻島村 立野前谷農事改良組合	南埼玉郡荻島村 立野前谷農事改良組合
	二・二〇石	六・二五圓

本施設實施ノ效果

天候不順ニシテ一般綠肥施用地ハ倒伏、稻熱病發生、未熟等ノ爲成績不良ナリシニ拘ラズ、指導

田ハ其ノ成績良好ニシテ綠肥ノ合理的施用竝其ノ他肥料ノ適正ナル配合ノ農作ニ及ボスベキ效果ニ付キ大イニ覺醒ヲ與ヘタリ

四 綠肥根瘤菌培養配付

施行方法

縣立農事試驗場ニ於テ根瘤菌ヲ培養シ無償配付ス

事業成績

根瘤菌培養配付數量

根瘤菌種類	配付數量(シャーレ)	接種面積
紫雲英	二、〇〇〇個	二〇〇町
ザイトウキツケン	四〇〇	四〇
計	二、四〇〇	二四〇

本施設實施ノ效果

接種地ト無接種地トノ綠肥ノ生育ニ格段ノ差異アリ、接種ニ依リ栽培不可能地無シト信セラレ、未栽培地及生育不良地ヨリ配付申込多ク綠肥作物改良増殖普及上ニ貢獻セル處大ナリ

▲千 葉 縣

一 自給肥料改良増産競進會助成

施行方法

郡市農會又ハ郡養蠶業組合ヲシテ農家組合ヲ出品單位トスル堆肥、水田裏作綠肥及桑園間作綠肥改良増産競進會ヲ開催セシメ、其ノ賞品費ヲ助成スルト共ニ成績特ニ優秀ナルモノニ對シ縣賞杯並縣農會賞杯又ハ縣養蠶業組合聯合會賞杯ヲ授與ス

事業成績

○堆肥改良増産競進會

助成ヲ受ケタル郡市農會數

一三

縣賞杯授與點數

三

縣農會賞杯授與

六

○水田裏作綠肥改良増産競進會

助成ヲ受ケタル郡市農會數

一一

縣賞杯授與點數

一

(一) 戶當紫雲英栽培面積約 八五〇貫
(四反)
(同上反當平均生草收量 八五〇貫)

縣農會賞杯授與點數

二

○畑作綠肥改良増産競進會

助成ヲ受ケタル郡養蠶業組合數

一〇

縣賞杯授與點數

一

(一) 戶當桑園間作綠肥栽培面積二五反
(同上桑園面積ニ對スル割合 八六%)

縣養蠶業組合聯合會賞杯授與點數

二

二 自給肥料指導補助員表彰

施行方法

郡市自給肥料改良増産獎勵會(後記)ノ推薦ニ係ル六一市町村ニ於ケル自給肥料指導補助員ニ對シ表彰狀並賞金ヲ授與シ之ヲ表彰ス

三 自給肥料指導地設置

施行方法

青刈大豆(黒千石)及ルーピンノ栽培及採種並水稻・大麥・小麥・桑・白菜・南瓜・西瓜ニ對スル堆肥及雞糞ノ施用方法ニ關スル實地指導地ヲ設置ス

事業成績

綠肥栽培及採種實地指導地設置箇所數

青刈大豆 六 ルーピン 一

堆肥及鶏糞施用指導地設置箇所數

二五 (水稻一・三・大麥一・三・小麥一・四・桑園一・白菜一・南瓜一・西瓜一)

四 自給肥料改良増産獎勵會設置助成

施行方法

郡市農會ヲシテ前年ニ引繼キ 自給肥料改良増産獎勵會ヲ設置セシメ、之ガ協議會費・指導督勵費等ヲ助成ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

二市一二郡

五 綠肥一齊播種週間設置助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シテ紫雲英、郡養蠶業組合ヲ助成シテ桑園間作綠肥ノ一齊播種週間ヲ設ケ綠肥ノ適期播種ノ獎勵指導ヲ行ハシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數

二市一二郡

助成ヲ受ケタル郡養蠶業組合數

一〇

▲東京府

一 ルービン栽培獎勵

施行方法

印刷物ノ配付・講習會及協議會ノ開催・栽培指導地ノ設置・種子無償配付等ニ依テルービンノ栽培ヲ獎勵ス

事業成績

○印刷物ノ配付

パンフレット「ルービンノ成績」(第二報)一、五〇〇部・「綠肥ノ智識」(改訂版)一、〇〇〇部

○協議會

開催箇所數

二

出席者員數

二一九

○栽培指導地設置

設置箇所數

〔秋播〕一九六
〔春播〕一五〇

指導地面積

一〇・〇町 (一個所當約五畝)

○種子無償配付

配付種子量
同上種子栽培面積

三五石 (内四石指導地用)
一〇五・〇町 (内一〇町指導地)

▲神奈川県

一 堆肥積込週間

施行方法

縣下ヲ三區ニ區分シ、昭和九年七月下旬ヨリ同八月下旬マデノ間ニ適當ナル時期一週間ヲ選ビ、ポスター及リーフレットノ作製配付・協議會ノ開催・速成堆肥製造法講習・宅地及畜舎ノ清掃・草刈・堆肥積込等ノ指導督勵ヲ爲ス

事業成績

週間實行農家戸數 五二、八九六 (農家總戸數ニ對シ六七%)
週間中堆肥積込數量 二六、二九七、六三三貫 (前年同週期中ノ積込量ニ比シ六六%増)

本施設實施ノ效果

堆肥増産ニ關スル農家ノ自覺ヲ促シ、草刈ガ勵行セラレ又從來原料ノ儘鋤込メル弊習ヲ矯メテ之ヲ堆肥ニ製造スルニ至レリ

二 堆肥増産品評會開催助成

施行方法

縣農會ヲシテ市町村農會主催堆肥増産品評會 (出品點數ハ一市町村二〇點以上タルコト、出品資格ハ耕地面積五反以上ニテ本年冬作用堆肥五〇〇貫以上積込メル農家タルコト) ヲ開催セシメ、一市町村當約三十圓ノ助成金ヲ交付セシム

事業成績

開催市町村農會數 一市三〇町村
出品點數 一、五五〇 (内授賞點數五六〇)
出品堆肥數量 二、九五一、五九二貫 (出品者冬作面積反當二七九貫)

三 自給肥料特別指導町村設置

施行方法

特定町村ヲ助成シ、自給肥料改良増産ニ關スル基礎調査ヲ行ハシメ、之ニ基キ其ノ實情ニ即シ最適當ナル綠肥競作會・綠肥種子共同購入・綠肥採種圃經營・堆肥増産審議會 (又ハ品評會)・堆肥舎ノ建設及改善・汚水溜ノ設置・講習講話會・草刈獎勵・自給肥料宣傳映寫會・自給肥料施用改善指導地ノ如キ諸施設ヲ實施セシメ他町村ノ範タラシム

事業成績

特定町村村數

二六

特定町村經費總額

三、二五八圓

助成金交付額

一、三〇〇圓

▲新潟縣

一 堆肥改良増産獎勵施設助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シ堆肥改良増産競進會ヲ開催セシメ、競進會ノ審査指導ニ係員ヲ派遣シ又印刷物ヲ作製配付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數

一六

郡市農會經費豫算額

四、三九一圓

助成金交付額

二、四三二圓

出品者員數

六六、四〇〇 (内授賞點數二、七二四)

同上堆肥生産數量

約二八〇、〇〇〇千貫(前年度ニ比シ一・二%、約三千萬貫増)

二 紫雲英園地競作會助成

施行方法

新潟縣紫雲英普及會ヲ助成シ各郡區域ニ其ノ會員タル園地ヲ單位トスル園地競作會ヲ開催セシム

事業成績

出品園地數

四五九 (内授賞點數二二九)

同上參加員數

一二、九八四

同上紫雲英栽培面積

四、六〇四町

本施設實施ノ效果

栽培法ヲ改善シ栽培氣運ヲ増進セルコト大ナリシガ、前年未曾有ノ大雪害ノ爲栽培普及上ニ一大支障ヲ來シタリ依ツテ今後ハ耐雪性品種ノ改良及長期ノ積雪ニ耐ユル栽培法ノ改善ヲ講ゼシメ一層栽培普及ヲ圖ラントス

三 紫雲英栽培實地指導

施行方法

紫雲英栽培實地家十八名ヲ縣囑託指導員トシテ栽培、管理及施用等ニ付實地指導ヲ行ハシム

事業成績

指導日數 二二四
指導面積 八、〇〇〇町步

四 紫雲英施用稻作指導田設置

事業成績

指導田設置個所數 三
指導田面積 五反

五 桑園綠肥栽培獎勵

施行方法

縣養蠶業組合聯合會ニ於ケル青刈大豆種子共同購入費ニ對シ種子一石ニ付一圓以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

共同購入實施實行組合數 三三五
共同購入種子量 三八一・六八石
同上種子栽培面積 五七八・〇町

▲富山縣

一 青刈大豆採種圃經營助成

施行方法

郡市町村農會其ノ他農事團體ヲ助成シ青刈大豆(黑千石)採種圃ヲ經營セシム

事業成績

採種圃設置町村數 七二
採種圃面積 九・七町
採種量 五八・二石
同上種子栽培面積 一四六・四町

二 ヘアリーヴェツチ種子購入配付

施行方法

縣ニ於テヘアリーヴェツチ種子ヲ購入シ郡市町村農會ヲ經由シテ農事組合ニ無償配付ス

事業成績

購入配付種子量 六石
同上種子栽培面積 六〇・〇町

三 堆肥積込用ホーク購入助成

施行方法

農家組合ニ對シ一組合一挺ノ割合ニテ堆肥積込用ホークノ購入費ノ三分ノ一、一挺當五〇錢ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル市町村數 二二四 (全市町村ニ對シ八五%)
 ホーク購入數 二、〇〇〇挺

四 堆肥堆積場タンク設置助成

施行方法

農家ニ生ズル液體廢棄物利用ノ爲堆肥堆積場タンクヲ設置セシメ一基當二圓ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル市町村數 一〇九 (全市町村ニ對シ四九%)
 タンク設置數 二五〇基

五 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

ポスター、リーフレットノ作製配付・協議會ノ開催・指導督勵

▲石川縣

一 綠肥種子配付助成

施行方法

郡農會ヲ助成シ紫雲英(二町歩以上ノ圃地ノ新規栽培地ニ對シ)・青刈大豆・ザートウキツケン・ヘアリーヴェツチ種子ヲ無償配付セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數

八

配付種子數量

綠肥種類	配付種子數量	同上種子栽培面積
紫雲英	九・七〇石	五二・八町
青刈大豆	一七・四〇	四〇・八
ザートウキツケン	一〇・三五	三九・五
ヘアリーヴェツチ	二・三五	六・七
計	三九・八〇	一三九・八

備考 以上縣ノ助成ヲ受ケタルモノノ外二―三郡農會ニ於テハ農會經費ヲ以テ各種綠肥種子ヲ配付セリ

二 堆肥積込框設備助成

施行方法

郡農會ヲ助成シ堆肥積込框（▲大形ハ縦九尺、横六尺、高サ一・五尺 ▲小形ハ縦横各六尺、高サ一・五尺）ノ設備ヲ助成セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數

八

積込框設備數

大形 六一二
小形 七二四
計 一三四

一個當平均設備費

大形 五・五〇〇圓
小形 五・〇〇〇圓

同上助成金

大形、小形共 一・四二圓

三 綠肥採種圃競進會助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ縣下一圓ニ亘リ個人ヲ出品單位トスル綠肥採種圃競進會ヲ開催セシム

事業成績

綠肥種類	出品點數	授賞點數	同上採種圃面積	採種量
紫雲英	四五二	四四	三七・五八町	二五五・五四石
青刈大豆	四五三	四六	〇・一二	一・六〇
計			三七・七〇	三五七・一四

四 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

十一月二十一日ヨリ十一月三十日マデ堆肥一齊積込運動ヲ實施シ堆肥一齊積込獎勵ポスター及リ―フレットヲ作製配付ス

事業成績

一齊積込期間内堆肥積込數量

六、〇二二、九四五貫

同 期間外堆肥積込數量

八、三一七、四〇一貫

計

一四、三四〇、三四六貫

▲福井縣

一 簡易堆肥舎建設助成

施行方法

縣ノ指定設計ニ依ル堆肥舎ノ建設ニ對シ材料費ノ三分ノ一、一棟當十圓以內ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成金交付申請件數

一三〇

助成金交付件數(堆肥舎建設棟數)

七三

同上 總 坪 數

三二二・二坪(一棟平均四・四一坪)

一棟平均建設費

九〇・五一圓(內材料費七五・一六圓)

二 堆肥改良増産品評會助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ郡農會ヲシテ各郡ヲ出品區域トシ、個人ヲ出品單位トスル堆肥改良増産品評會ヲ開催セシメ成績優秀ナル者ニ對シ知事褒賞ヲ授與ス

事業成績

品評會ヲ實施セル郡農會數

一一

出 品 點 數

一、七三七 (內授賞點數三八九)

出品堆肥數量

總

二、二九四、四三〇貫(前年ニ比シ三倍増)

出品農家一戸當

一、二〇一貫

同上耕地反當

一三三貫

本施設實施ノ效果

本施設ハ堆肥製造實地指導講習會ト相俟ツテ著シキ效果ヲ舉ゲ、前年ニ比シ堆肥生産量約三割五分以上増産ノ見込ナリ

三 紫雲英増殖競技會助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ郡農會ヲシテ各郡ヲ出品區域トシ、個人ヲ出品單位トスル紫雲英増殖競技會ヲ開催セシメ、成績優秀ナル者ニ對シ知事褒賞ヲ授與ス

事業成績

競技會ヲ實施セル郡農會數

一一

出 品 點 數

一、一三四 (內授賞點數二三二)

同上 綠肥栽培面積

二一四町 (前年ニ比シ二二%増)

同上出品農家一戸當栽培面積

二・五反

本施設實施ノ效果

昭和八年春季雪害ノ爲紫雲英栽培ノ氣運阻害セラレタレドモ然シ本施設ニ依リ前年ニ比シ一八〇町餘ノ作付増加ヲ示セリ

四 綠肥種子共同購入助成

施行方法

郡養蠶業組合ヲシテ養蠶業實行組合ニ於テ桑園間作綠肥種子ノ共同購入ヲナサシメ、之ニ要スル費用ノ三分ノ一以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡養蠶業組合數

六

共同購入種子量(青刈大豆)

四〇・一九石

同上栽培面積

一一三・六町

本施設實施ノ效果

桑園整理並爾安價ニ依ル綠肥種子買借ミノ爲前年ニ比シ栽培面積ノ減少ヲ見タルモ、桑園肥料ノ

自給ニ關シ著シク認識ヲ深ムルヲ得タリ

五 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

印刷物ノ作製配付

▲山 梨 縣

一 綠肥團體栽培獎勵

施行方法

農事組合ヲシテ組合員耕地中綠肥栽培ニ適當スルモノノ八割以上ニ綠肥ヲ栽培セシメ之ニ要スル種子代ノ三分ノ一以内一組合平均二十三圓ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル組合數

四九

綠肥栽培面積

ザートウキツケン

一四七・九町

青 刈 大 豆

一五六・二

二 綠肥根瘤菌培養配付

施行方法

前記農事組合ニ於ケル綠肥栽培地其ノ他綠肥新規栽培地ニ對シ根瘤菌ヲ培養配付ス

事業成績

配付根瘤菌接種面積

紫雲英	八三・五
豌豆	七・八
ヘアリーグエツチ	八・〇
蠶豆	四一・六
計	四四五・〇

三 草木灰利用設備設置助成

施行方法

農事組合ヲシテ組合員全員ニ草木灰利用設備ヲ設置セシメ、其ノ費用ノ三分ノ一、一組合三十圓ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル組合數	一〇
草木灰利用設備設置數	七
草木灰共同貯藏舍	九〇
草木灰共同貯藏箱	

本施設實施ノ效果

各組合員競争シテ草木灰ノ貯藏利用ニ努メ加里肥料ノ自給ヲ圖リ各作物ノ增收ニ好結果ヲ齎セリ

四 肥料經濟改善實地指導地設置助成

施行方法

農事組合ヲ助成シ主要農作物ニ對シ自給肥料ヲ基礎トスル肥料經濟改善實地指導地ヲ設置セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル組合數	三四
指導地設置個所數	三四 (一個所面積一反步)



(内水稻ニ對シ五・小麥ニ對シ一二・大麥ニ對シ一〇・葡萄ニ對シ五・桑ニ對シ二)

本施設實施ノ效果

肥料代支出ノ節減、農作物收量ノ増加及收穫物ノ品質向上等ニ對シ優良ナル成績ヲ收メ當業者ニ範ヲ示シ、施肥法ノ改善ニ資セシ處大ナリ

▲長野縣

一 堆肥改良増産競進會

施行方法

縣主催ヲ以テ農家組合ヲ出品單位トシ、秋作用堆肥ニ付堆肥改良増産競進會ヲ行ヒ、入選組合ニ對シ賞金(一組合二〇圓)ヲ授與シ、成績特ニ優秀ナル二組合ヲ選抜シ知事賞ヲ授與ス

事業成績

出品組合數	八、一七七 (内入選組合八五)
出品堆肥數量	二、一五五、一七五貫
總出品一組合當	二五、三五五貫

同上出品組合耕地反當

二七八貫

知事賞授賞組合成績

組合名	組合員	堆肥堆積量	一戸當生産量	同上耕地反當
下伊那郡千代村米峯農家組合	二一名	五七、三四〇貫	二、七三〇貫	四四六貫
下高井郡平野村吉田改良農家組合	二六名	九五、九五二	三、六九二	四〇二

本施設實施ノ效果

近時農村ノ不況深刻ナルニ伴ヒ金肥ノ施用意ニ任セズ自給肥料増産ノ機運漸ク旺盛トナリ、殊ニ速成堆肥普及購習會開催ヲ契機トシ自給肥料指導員ノ活動又見ルベキモノアリテ有畜農業ノ獎勵ト共ニ生糞ヲ施用スル惡習漸次改善セラレ、又堆肥材料ノ採集地タル採草地ノ解放セララルモノ各所ニ生シ、堆肥改良増産競進會ハ農家競ツテ参加スル所トナリ最モ好適シタル施設ナリトス

二 自給肥料指導員活動促進

施行方法

自給肥料指導員ヲシテ其ノ町村ニ於ケル堆肥改良増産競進會ノ審査其ノ他自給肥料ノ改良増産ニ關スル指導ニ當ラシメ一人年二圓ノ手當ヲ支給ス

事業成績

指導員員數

六四〇

三 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

講演會並活動寫真會ノ開催

事業成績

講演會並活動寫真會開催個所數

一〇

▲岐 阜 縣

一 紫雲英採種圃經營

施行方法

町村農會ニ委託シ紫雲英採種圃ヲ經營シ生産種子ヲ郡市町村農會、養蠶實行組合及農事實行組合等ニ無償配付ス

事業成績

採種圃設置個所數

大晩生種

一

採種圃面積

一〇反

採種量

三・二石(責任納入量反當三・二斗)

同上種子栽培面積

二〇町

配付先團體數

六四

二 綠肥種子購入配付

施行方法

ザイトウキツケン及青刈大豆ノ種子ヲ購入シ之ヲ郡市町村農會、養蠶實行組合及農事實行組合等ニ無償配付ス

事業成績

購入配付種子量

綠肥種類	購入配付種子量	同上種子栽培面積	配付先團體數
ザイトウキツケン	四〇石	四〇町	
青刈大豆	一二〇	三〇	
計	一六〇	七〇	三二〇

三 綠肥品評會

施行方法

郡農會ト共同シ郡ヲ出品區域トシ個人ヲ出品單位トスル綠肥立毛品評會ヲ開催ス

事業成績

開催郡農會數

五

參加町村數

六六

出品綠肥種類

紫雲英・青刈大豆・ヘアリーヴェッチ・ザートウキツケン

出品點數

六三七 (内授賞點數二二九)

出品綠肥栽培面積

六八七反

四 糞渣處理利用改善設備設置助成

施行方法

農事實行組合・養蠶實行組合等ノ團體ヲシテ糞渣處理利用改善設備(土壺)ヲ設置セシメ其ノ設置費ノ三分ノ一以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル團體數

二四

設備(土壺)設置數

二五六

五 堆肥一齊積込週間

施行方法

三月中旬ヨリ五月上旬マデノ間ニ於テ適當ナル時期一週間ヲ選ビ各郡市ノ區域ニ於テ堆肥一齊積込週間ヲ行フ

事業成績

參加農家戶數

三七、九九〇

週間中積込堆肥數量

一六、五八九、七九八貫

同上參加農家一戶當數量

四三五貫

六 自給肥料施用改善實地指導地設置

施行方法

町村農會ニ委託シ米麥ニ對スル自給肥料施用改善實地指導地ヲ設置ス

事業成績

實地指導地設置個所數

一三 (二個所面積一反)

七 自給肥料改良増産指導員養成講習會

施行方法

町村技術員ヲ援助シ自給肥料改良増産指導獎勵ノ實務ニ當ルベキ指導員養成ノ目的ヲ以テ各郡市農會ヨリノ推薦ニカカル篤農青年ノ講習會ヲ開催ス

事業成績

開催個所數 一
受講者員數 五〇名

八 自給肥料改良増産指導督勵

施行方法

實地指導・協議會、懇談會、講習講演會等ノ開催・印刷物ノ作製配付

各施設實施ノ效果

以上ノ如キ施設ニ依テ堆厩肥及綠肥ノ改良増産ニ努メタル結果左記ノ如ク増産セリ

種 類	昭和九年	前年ニ比シ増産量	同上増加率
綠肥(作付面積高積)	八・七六二町貫 三九・三九二千貫	三・八九町貫 二・一二六千貫	四・六% 五・七%
堆肥	六一・八一〇	一・三四〇	二・二%
厩肥	七九・五〇八	三・一一五	四・一%

▲靜岡縣

一 堆肥増産獎勵普及宣傳

事業成績

ポスター二、〇〇〇・手拭二、〇五〇ヲ作製配付ス

二 縣農會ニ於ケル自給肥料改良増産施設助成

施行方法

縣農會ヲ助成シテ昭和九年度冬作用堆肥ニ付抽籤懸賞式堆肥一齊増産運動ヲ實施セシメ、之ニ關聯シテ市町村農會ヲ助成シテ自給肥料改良増産ニ關スル講話會又ハ協議會ヲ行ハシム

事業成績

○抽籤懸賞式堆肥一齊増産運動

堆肥一齊増産運動實施期日 昭和九年八月二十日ヨリ同八月二十六日マデ

同上 期間中堆肥積込數量 三、六四四萬貫

抽籤券交付農家戶數 三七、五八四 (内當籤點數一等二・二等一〇・三等二〇・四等一〇〇・五等五〇〇・六等二〇〇〇)

堆肥増産運動優良部落選獎點數 一五

○市町村農會ノ自給料肥改良増産ニ關スル講習會又ハ協議會助成
 助成ヲ受ケタル市町村農會數 三一二
 事業實施ノ效果

堆肥一齊増産運動期間中積込ミタル堆肥ノ量ハ十月一日現在調査ニテ熟成セルモノ約三、六四四萬貫餘（昭和九年度堆肥生産總量約九、二〇〇貫餘）ニシテ從來本縣農耕地反當堆肥施用量一〇貫ナリシヲ一四〇貫ニ増加シ得タリ本増産運動ハ各市町村農會ヲシテ其ノ市町村ノ實狀ニ鑑ミ自給肥料増産計畫ヲ樹立セシメ、之ガ目的達成ニ各關係機關連携シテ活動ヲ促シ營業者ニ普遍的ニ堆肥ノ製造施用ニ關スル認識ヲ深メ得タリ

▲愛知縣

一 綠肥共同採種圃設置獎勵

施行方法

郡市農會ヲシテ綠肥共同採種圃ヲ設置セシメ反當十圓以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

一市一八郡

採種圃設置狀況

綠肥種類	採種圃面積	採種量
青刈大豆	二八・七町	二四二・〇石
紫雲英	四二・三	二五・〇
蠶豆	二五・七	二七・一
ザイトウキツケン	四・七	三・五

二 市町村農會主催自給肥料増産成績競技會助成

施行方法

縣農事試驗場ノ指導ニヨリ自給肥料増産計畫ヲ樹立セル市町村ノ市町村農會ヲシテ農事實行組合ヲ單位トスル自給肥料増産成績競技會ヲ開催セシメ之ガ賞金費ヲ助成ス

事業成績

助成ヲ受ケタル市町村農會數

三八

競技會ニ參加組合數

一、〇一七

同上參加員數

二八、五八一

競技會實施成績

堆厩肥生産數量 四〇、三六三千貫(前年ノ三一、八八三千貫ニ比シ二七%増)
 綠肥栽培面積 五、一四三町 (前年ノ三、五五七町ニ比シ四五%増)
 綠肥(生草)收量 一二、五四四千貫(前年ノ六、六〇四千貫ニ比シ九〇%増)
 綠肥共同採種圃反別 二二一・〇町 (前年ノ一〇三・六町ニ比シ一一三%増)
 家畜及家禽飼育數

馬 六〇七頭 (前年ノ五八八頭ニ比シ三%増)

牛 五、一〇九頭 (前年ノ四、三四〇頭ニ比シ一八%増)

豚 一三、一三五頭 (前年ノ一〇、七七二頭ニ比シ二二%増)

兔 二二、一一一頭 (前年ノ一四、三七九頭ニ比シ五四%増)

其ノ他(羊、山羊、其他) 一、二七一頭 (前年ノ九三八頭ニ比シ三六%増)

家禽 九〇二、五四一羽 (前年ノ七一一七、六八五羽ニ比シ二六%増)

三 郡市農會ニ於ケル自給肥料増産運動助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シ自給肥料増産運動ヲ行ハシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

四市一四郡

實施郡市農會數

一一

堆肥積込週間

五

堆肥増産競技會

九

懸賞式堆肥増産運動

堆肥増産運動參加員數 六七、九一九
同上ニ依ル堆肥生産數量 一六八、八五二千貫(前年ニ比シ一二%増ノ見込)

綠肥播種週間

二

講習講話會

八

印刷物配付

三

▲三 重 縣

一 紫雲英施用改善實地指導地設置

施行方法

各郡一農家組合ヲ指定シ十町以上ノ圃地ニ於テ水稻ニ對スル紫雲英施用方法改善實地指導ヲ行フ

事業成績

實地指導地設置個所數

一三

指導地栽培成績（實地指導地十三個所平均）

反當販賣肥料代 反當玄米收量	指 導 地	在 來 施 肥 法
四・七八圓 二・二二石		五・三五圓 一・九六石

二 縣農會ニ於ケル堆肥増産競進會助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ市町村區域堆肥増産競進會（出品堆肥ハ昭和九年四月ヨリ同十年二月迄ノ間ニ積込タルモノナルコト・一市町村内ノ出品點數ハ其ノ市町村ニ於ケル農家戸數ノ五分ノ一以上タルコト・出品單位ハ個人トス・審査ハ出品農家ノ耕作面積及堆肥製造高ニ付キ行フ）ヲ行ハシメ競進會ニ於ケル成績優秀ナル市町村農會ヲ表彰ス

事業成績

市町村區域堆肥増産競進會

参加市町村數

一四一

出品 點 數

一八、〇八〇

授賞 點 數

三、六〇〇

表彰ヲ受ケタル市町村農會數

二〇

▲滋 賀 縣

一 紫雲英栽培面積擴張用種子購入配付助成

施行方法

町村農會ニ對シ紫雲英ノ栽培面積ヲ五町歩以上擴張スルコトヲ條件トシテ之ニ要スル種子代ノ二割以内（但シ一町村二十圓以内）ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成金ヲ受ケタル町村農會數

六五

購入配付種子量

一一八・八三石

同上栽培面積

五七八・九町

二 紫雲英根瘤菌培養配付

施行方法

縣農事試驗場ニ於テ紫雲英根瘤菌ヲ培養シ之ヲ町村農會ヲ通ジ農家ニ無償配付ス

事業成績

培養配付數量

角形培養壘

七五〇本

同上接種面積

二五〇町

備考 根瘤菌接種ノ效果ハ毎年連續シテ接種セル地方ハ成績特ニ良好ニシテ單ニ一ヶ年ノミ接種セルモノハ其ノ充分ナル效果ハ收メ難キモノノ如シ

三 綠肥種子購入配付斡旋助成

施行方法

縣農會ニ於ケル紫雲英・青刈大豆及ザートウキツケン種子購入配付斡旋費及通信運搬費ヲ助成ス

事業成績

購入配付斡旋種子量

一、五九三石 (▲紫雲英一、五四九石 ▲青刈大豆二九石 ▲ザートウキツケン一五石)

四 堆肥増産獎勵運動助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ所定ノ堆肥積込週間中ニ積込タル中熟堆肥一立坪ニ付懸賞抽籤券一枚ヲ交付シ抽籤ニヨリ一等ヨリ八等ニ區分シ賞金及賞品ヲ授與セシム

事業成績

抽籤券交付數

三六、六一二枚

堆肥増産量

二、〇一四萬貫

五 自給肥料改良増産優良事績表彰助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ町村農會、部落農業團體或ハ個人ニシテ堆肥、綠肥其ノ他自給肥料ノ増産施用ノ成績優秀ナル者ヲ表彰セシム

事業成績

表彰點數

町村農會

五

部落農業團體

二〇

個人

一三

▲京 都 府

一 堆肥増産競進會助成

施行方法

郡農會（郡養蠶業組合及郡畜産組合ト共同主催）ヲ助成シ堆肥増産競進會ヲ行ハシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡農會數

一四

品評會ノ結果前年同期ニ比シ増産シタル堆肥數量

五〇八萬貫

二 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

講習、講話會ノ開催・印刷物ノ配付

事業成績

講習講話會開催回数

二一

堆肥増産獎勵ポスター作製配付數

一、二〇〇枚

▲大 阪 府

一 實用堆肥舍設置助成

施行方法

堆肥改良増産獎勵上最適當ナル地方ニ於ケル農事實行組合ヲ助成（建設費ノ二分ノ一、六十圓以內）シ府ノ指定設計ニ依ル堆肥舍ヲ設置セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル組合數

一一

同上堆肥舍棟數

一一

同上總坪數

八二・九坪

一棟當平均建設費

一六九・九六圓（一坪當平均 二二・五五圓）

二 堆肥増産品評會助成

施行方法

堆肥増産獎勵ノ最必要ナル地方ノ町村農會ヲシテ堆肥増産品評會ヲ開催セシメ一町村農會平均約五十二圓ノ獎勵金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル町村農會數

二三 (農家戸數 九、六二〇)

出品者員數

三、六九九

出品堆肥數量

三、二七九、八一六貫 (出品農家一戸當 八八七貫
同上耕地反當 一一九貫)

三 下肥共同溜壺設置助成

施行方法

大阪市及堺市等ノ下肥ヲ汲取利用センガ爲適當ナル地方農事實行組合ヲ助成(設置費ノ二分ノ一、六十圓以内)シ下肥溜壺ヲ設置セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル組合數

一一 (組合員三九九人)

下肥共同溜壺設置個數

一一

同上 總坪數

七二・三坪 (一個當平均 六・六坪)

同上下肥貯藏可能數量

一、三七六石 (一個當平均 一二五石)

同上 實際貯藏數量

六五、六四八貫 (一個當平均 五、九六八貫)

本施設實施ノ效果

約二六二、〇〇〇貫 (組合員耕地反當約 九三貫)

府ノ助成下肥共同溜壺ヲ模範トシ助成ヲ受ケズシテ自力ヲ以テ設置セル實行團體増加シ下肥ノ取扱改善ニ資スル處大ナリ

四 堆肥改良増産實行模範團體ノ選賞

施行方法

堆肥改良増産ノ成績顯著ナル農事實行組合ヲ郡市農會長ヲシテ選拔セシメ府ハ之ガ審査ノ上成績特ニ優秀ナルモノヲ選賞ス

事業成績

選賞ヲ受ケタル組合數

一一

五 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

講習講話會及宣傳會ノ開催・印刷物ノ作製配付

事業成績

講習講話會及宣傳會

開催回数

九六

聽講者員數

五、二八〇

印刷物ノ作製配付

一枚刷

六、〇〇〇枚

▲兵庫 縣

一 綠肥種子購入配付助成

施行方法

郡市農會ヲシテ水田單作及間作青刈大豆並郡養蠶業組合ヲシテ桑園間作青刈蠶豆種子ヲ購入配付セシメ其ノ購入配付費ニ對シ助成金ヲ交付ス

事業成績

綠肥種類	品種名	助成先	購入配付種子量	同上栽培面積
青刈大豆	元山三等	一市二四郡農會	一、七四三・一〇石	〔單作〕 二、五二二・二七町
青刈蠶豆	五島蠶豆	一六郡養蠶業組合	七二一・六〇	〔間作〕 二、六五一・七九町
				一、二〇二・四〇

▲奈良 縣

一 速成堆肥協約造製助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シ農事實行組合等ノ團體ヲシテ其ノ團體員ニ堆肥反當三〇〇貫以上ヲ協約造製セシメ完熟堆肥三〇〇貫ニ付一圓以内ノ獎勵金ヲ交付セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

一一

堆肥協約造製團體數

一五一

同上團體員數

二、六五四

協約造製堆肥數量

一、九四七千貫(團體員一人當 一、一七六貫)

本施設實施ノ效果

組合一致シテ勵行セル結果相互扶助ニ依リ技術ノ練達ト團體的訓練ニ資スル所多シ

二 綠肥種子購入配付助成

施行方法

郡市農會ヲシテ優良綠肥種子ヲ農事實行組合等ニ購入配付セシメ其ノ種子購入費ノ四分ノ三以內ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

一〇

助成ヲ受ケタル郡市農會數
購入配付種子量

綠肥種類	購入配付種子量	同上栽培面積
紫雲英	一四・八石	七二・五町
青刈大豆	二・八	七・〇
ザイトウキツケン	五・六	二一・八
計	二三・二	一〇一・三

三 綠肥採種圃設置助成

施行方法

市町村農會又ハ農事實行組合ヲシテ綠肥採種圃ヲ設置セシメ、之ガ經營費ニ對シザイトウキツケン反當三圓、其ノ他ノ綠肥反當二圓ノ助成金ヲ交付ス
事業成績

助成ヲ受ケタル團體數

一一九

採種圃設置狀況

綠肥種類	採種圃面積	採種量	同上種子配付員數
紫雲英	二四・四九町	一〇六・五石	一、七七五名
青刈大豆	六・四一	三七・九	二七一
ザイトウキツケン	六・七二	三四・九	二九〇
セラデラ	二・〇〇	九・四	一五六
ルイビシ	二・一〇	八・三	一〇三
計	四一・七二	一九七・〇	二、五九三

本施設實施ノ效果

優良種子ノ自給ヲ促シ綠肥種子購入配付事業ト相俟ツテ綠肥増殖上資スル所尠カラズ

▲和歌山縣

一 堆肥製造講習會助成

施行方法

市町村農會ヲ助成シ堆肥製造講習會ヲ開催セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル市町村農會數

六三

開催個所數

三、三九七

受講者總員數

一三、八〇一

二 自給肥料増産指導督勵員活動促進

施行方法

縣農會ニ於テ養成セル市町村ノ自給肥料増産指導督勵員ニ對シ手當ヲ支給シ、市町村農會ノ技術員ト協力シ堆肥品評會ノ審査、部落講習會、座談會等ノ指導獎勵ニ當ラシム

事業成績

手當ノ支給ヲ受ケタル指導員員數

七七

三 抽籤式堆肥及綠肥増産競進會開催

施行方法

一立坪以上ノ中熟堆肥ヲ生産セル者又ハ二反歩以上ノ綠肥ヲ栽培セル者ニ對シ抽籤券ヲ交付シ當籤者ニ賞金ヲ授與ス

事業成績

出品者ノ中熟堆肥生産量

六、七二八立坪

出品者ノ綠肥栽培面積

四、一三〇・四反

抽籤券交付點數

八、六〇六

(當籤點數 七七〇)

▲鳥 取 縣

一 自給肥料改良増産施用普及宣傳

施行方法

○自給肥料改良増産一齊週間

實施期日 昭和九年九月二十四日ヨリ一週間縣下一齊ニ實施

主 催 縣、系統農會、畜産組合、養蠶業組合其ノ他團體

週間中實施事項

各町村ニ於テ町村農會ガ指導ノ中心トナリ農事實行組合ヲ實行單位トシ各農家ヲシテ堆肥材料ノ蒐集利用・堆肥舍、灰小屋、肥溜、蠶渣貯藏窖ノ修理改良・綠肥栽培・紫雲英栽培田ノ排水溝ノ設置・採草地ノ手入等ヲ必行セシム

○普及宣傳

ポスター及ビラノ配付・市町村ニ於ケル協議會ノ開催・講習講話・實地指導

○週間中成績優良ナル農事實行組合ノ選賞

本施設實施ノ效果

自給肥料改良増産ノ重要性ヲ認識シ金肥偏重ノ弊風ヲ矯正セシメタリ

二 自給肥料改良増産獎勵施設助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シ町村農會又ハ農事實行組合ヲシテ堆肥品評會・綠肥品評會・綠肥採種圃設置・紫雲英種子共同購入・自給肥料改良増産講習講話會等ノ施設ヲ實施セシム

事業成績

堆肥品評會

助成ヲ受ケタル郡農會數

七

出品點數

二、二七二 (内授賞點數 三五〇)

綠肥品評會

助成ヲ受ケタル郡市農會數

四

出品點數

五八六 (内授賞點數 一五四)

綠肥採種圃設置

助成ヲ受ケタル郡市農會數

六

採種圃設置狀況

綠肥種類	採種圃設置個所數	採種圃面積	同上採種種子栽培面積
紫雲英	二七	一九・九町	二九五・五町
紫トウキツケン	四	一〇・四	一四二・四
青刈大豆	二	〇・二	一・〇
計	三三	三〇・五	四三八・九

綠肥種子共同購入

助成ヲ受ケタル郡市農會數

六

綠肥種子共同購入狀況

綠肥種類	購入種子數量	同上種子栽培面積
紫雲英	一五九・五九石	五五二・一町
紫トウキツケン	六・〇	三〇・〇
計	一六五・五九	五八二・一

講習講話會

助成ヲ受ケタル郡市農會數

七

開催回数

七八

受講者總員數

五、六三三

三 桑園綠肥種子共同購入助成

施行方法

養蠶業組合及養蠶實行組合ノ桑園間作青刈大豆及蠶豆種子共同購入費ノ二分ノ一以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

共同購入種子數量

綠肥種類	助成ヲ受ケタル組合員數	共同購入種子量	同上栽培面積
青刈大豆	三、九八六	一六〇・三二石	四二九・四町
蠶豆	一、〇〇八	六五・四五	一〇七・〇
計	五、九九四	二二五・七七	五三六・四

▲島根縣

一 紫雲英原種圃經營

施行方法

紫雲英富農選七號ノ原種圃ヲ委託經營シ生産種子ヲ町村ノ採種組合ニ無償配付ス

事業成績

原種圃設置個所數

八

原種圃面積

五・二町

採種量

二四・九石

同上種子ノ栽培面積

一六六・六町

二 綠肥栽培施用實地指導地設置

施行方法

縣下三十八個所ニ一個所一反歩以上ノ綠肥栽培施用實地指導地ヲ設置ス

事業成績

指導事項	指導地設置個所數
桑園間作 蠶豆及青刈大豆ノ栽培	一三
水田裏作 紫雲英ノ栽培	一九
同 苜蓿ノ栽培	一
同 ヘアリーブエツチノ栽培	五
計	三八

三 堆肥一齊積込週間

施行方法

三月二十五日ヨリ三十一日マデ一週間縣下一齊ニ堆肥積込ヲ行ハシメ、之ガ徹底ヲ圖ル爲堆肥積込週間ポスター、同ビラ、速成堆肥製造法ビラヲ作製配付セリ

事業成績

參加農家戸數 五七、二七〇 (前年參加農家戸數五六、七二〇戸ニ比シ五五〇戸増)
週間中ノ堆肥生産量 一三、〇二〇千貫 (前年週間中堆肥生産量一二、七二〇千貫ニ比シ三〇〇千貫増)

四 自給肥料増産品評會助成

施行方法

縣農會ヲシテ各町村農會ノ主催ヲ以テ部落農會ヲ出品單位トスル自給肥料品評會ヲ開催セシメ之ガ賞品費ニ對シ一町村當五圓ノ獎勵金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル町村農會數 二〇〇
出品部落農會數 二、八六四
出品堆肥數量 六三、二七八千貫
總量 六三、二七八千貫
出品者一戸當 一、二〇四貫
出品者耕地反當 二〇一貫

本施設實施ノ效果

堆肥生産數量前年ニ比シ八九一千貫ヲ増加シ、其ノ他ノ自給肥料ノ増産ノ氣運ヲモ助長セリ

▲岡山縣

一 紫雲英原種圃設置

施行方法

縣直營ニテ紫雲英原種圃ヲ設置シ生産種子ハ郡市農會採種圃ニ無償配付ス
事業成績

原種圃設置狀況

品 種	原種圃設置個所	同上面積	同上ヨリノ採種量	配付種子量
大 晚 生 種	一	四・七反	二・五七四石	二・二一四石
富 農 選 七 號	一	五・〇	〇・六一九	〇・五五〇
計	二	九・七	三・一九三	二・七六四

二 自給肥料増産計畫指導

施行方法

郡市農會ヲシテ農事實行組合等ノ幹部及篤農家ヲ集合シ之ヲ指導シテ各組合ノ自給肥料改良増産計畫ヲ樹立シ之ガ實行ヲ期セシメタリ

事業成績

事業實施郡市農會數

二二

三 自給肥料改良増産獎勵施設助成

施行方法

郡市農會ノ堆肥増産競進會・紫雲英採種圃設置ヲ助成ス

事業成績

堆肥増産競進會

助成ヲ受ケタル郡市農會數

二二

郡市農會主催ノモノ

實施郡市農會數

一二

出 品 點 數

二七九

町村農會主催ノモノ

實 施 町 村 數

六七

紫雲英採種圃設置

助成ヲ受ケタル郡市農會數

一六

採種圃設置個所數

九〇

同 上 面 積

一一・五二町

同 上 採 種 量

二九、二一九石

四 印刷物ノ配付

「緑肥作物ノ獎勵」ヲ各郡市町村農會ニ、「自給肥料改良増産實施計畫書」ヲ郡市町村農會及農家組合ニ配付ス

▲廣 島 縣

一 綠肥種子購入配付助成

施行方法

郡市農會、郡養蠶業組合等ノ團體ヲシテ綠肥種子ノ購入配付ヲ行ハシメ、之ニ要スル種子代及運賃ノ二分ノ一以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル團體數

二四

購入配付種子量

四 印刷物ノ配付

綠肥種類	助成ヲ受ケタル團體數		購入配付種子量	同上栽培面積
	郡農會	郡養蠶業組合		
紫雲英			四〇七・五四三石	二、一八四・八三町
青刈大豆			二六六・五二〇	六二四・一〇
蠶豆	一六		二七一・二七五	七三八・八二
碗豆			六・一〇三	一一・〇〇
ザイトウキツケン			三・二六九	一五・二〇
計		八	九五四・七一〇	三、五七三・九五

二 堆肥改良増産競進會助成

施行方法

郡市農會ニ於ケル堆肥改良増産競進會ニ對シ助成金ヲ交付ス

事業成績

堆肥改良増産競進會

一一

助成ヲ受ケタル郡市農會數

二六、四四〇 (内授賞點數 二、一九二)

出品點數

一七、五二六千貫

出品堆肥數量

三 自給肥料改良増産指導獎勵

施行方法

自給肥料改良増産獎勵委員ノ設置
以上各施設實施ノ效果

昭和七年度堆厩肥及綠肥ヲ主トスル自給肥料増産三ヶ年計畫ヲ樹テ指導獎勵ニ努メタル結果其ノ増産狀況左表ノ如シ

年次	堆肥		綠肥		計	増産指數 (昭和六年ヲ一〇〇トス)
	數量	増産指數 (昭和六年ヲ一〇〇トス)	栽培面積	積		
昭和六年	三、四八萬貫	100	紫雲英 七、五三町 蠶豆 三町 大豆 七〇三町	三町	八、三三町	100
昭和七年 (計畫樹立年度)	六、一九	一一二	蠶豆 五、九三 大豆 一、五九	七、〇三	八、五五	103
昭和八年	六、六六	一一五	蠶豆 一、四九七 大豆 一、四九七	二、九九	二、九九	101
昭和九年	六、八四	一一三	蠶豆 一、〇一三 大豆 一、四九七	二、五〇	二、九五	104

▲山口縣

一 紫雲英採種圃設置助成

施行方法

市町村又ハ郡市町村農會ニ於ケル紫雲英(晩生種)採種圃設置ニ對シ反當三圓以内ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル町村及町村農會數 二四

採種圃面積 六二・五九町

同上採種量 二〇六・五八石

同上種子栽培面積 一、〇三三・〇町

本施設實施ノ效果

市町村ニ對シ紫雲英種子ノ自給計畫ヲ樹立セシメ綠肥改良増産ノ健實ナル發展ヲ促進セリ

二 紫雲英原種配付

施行方法

市町村又ハ郡市町村農會經營紫雲英採種圃ニ對シ縣指定原種圃生産原種ヲ有償配付ス
事業成績

原種配付數量

原種ノ配付ヲ受ケタル團體名	團 體 數	原種配付數量	同上配付先採種圃面積
町 郡 農 會 村	一	〇・八二五石	
市 農 會	二	一・七八〇	
町 村 農 會	一	〇・〇六五	
計	四	一七・三三〇	
	八	二〇・〇〇〇	一六一・六四町
	二		

本施設實施ノ效果

原種配付先採種圃ノ成績良好ニシテ漸次優良品種ノ普及ヲ見ツツアリ

三 綠肥種子共同購入助成

施行方法

郡市町村農會ニ於ケル青刈大豆種子ノ共同購入ニ對シ種子代ノ三分ノ一以內ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

青刈大豆種子共同購入狀況

品 種 名	助成ヲ受ケタル團體數	共同購入種子量	同上種子栽培面積
端 川 種		八二・七五石	一三七・九町

城 津 種	茶 千 石 八 十 一 號	計
七六・八九	一八・八六	一七八・五〇
一二八・一	三七・七	三〇三・七

本施設實施ノ效果

青刈大豆ノ栽培漸次普及シ其ノ成績亦甚ダ良好ナリ

四 桑園間作蠶豆種子共同購入助成

施行方法

郡養蠶業組合又ハ養蠶實行組合ニ於ケル蠶豆(中粒種)種子ノ共同購入ニ對シ種子代ノ二分ノ一

以內ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡養蠶業組合

一一

共同購入種子量

二四二・六五石

同上 種子栽培面積

四〇四・五町

本施設實施ノ效果

桑園間作蠶豆ノ栽培面積急速ニ増加シ其ノ成績良好ナリ

五 自給肥料増産競進會助成

施行方法

市町村又ハ郡市町村農會ニ於ケル農事組合ヲ出品單位トスル堆肥、綠肥、柴草等自給肥料ノ増産競進會ニ對シ其ノ經費ノ四分ノ三以內ノ助成金ヲ交付スルト共ニ其ノ成績特ニ優良ナル農事組合ヲ選拔シ知事賞ヲ授與ス

事業成績

出品並授賞點數

助成ヲ受ケタル團體名	團體數	出品點數	同上授賞點數	知事賞金授賞點數
町村農會	二	四五	二七	二五
郡農會	二	二一五	六二	
市農會	一	二四	三	二五
町村農會	二	九二三	四八一	
計	四七	一、二〇七	五七三	

本施設實施ノ效果

自給肥料ノ増産増施顯著ニシテ更ニ益々増産ニ努ムル氣運トナレリ

六 堆肥原料柴草刈取競技會開催

施行方法

縣主催ニテ左ノ方法ニヨリ柴草刈取競技會ヲ開催シ成績優良ナルモノヲ表彰ス
 個人競技 各郡市選拔者ヲ一回ニ付一郡市二名參加セシム
 團體競技 各郡市個人競技參加者中ヨリ五人ヲ選出一團體トシ參加セシム
 特殊團體競技 競技會場附近六ヶ町村ノ男女青年團員中各町村二五人ヲ一團體トシテ參加セシム

事業成績

競技ノ種類	參加郡市町村數	出技者數	授賞點數	競技回数	刈取量			
					最	少	最	多
個人競技	一五郡市	一四七人	五一	五	一人	一五分間	五貫	三一貫
團體競技	一五郡市	七五	一五	一	五人	一五分間	二八	六九
特殊團體競技	六町村	一五〇	六	一	二五人	四〇分間	一七八	二五二
計		三七二	七二	七				二一二

本施設實施ノ效果

農家ノ勤勞精神ヲ作興シ、自給肥料ニ對スル注意ヲ喚起シ、堆肥原料トシテ柴草利用ヲ著シク増

加セリ

七 印刷物ノ作製配付

施行方法

「堆肥原料柴草刈取競技會宣傳ポスター」其ノ他印刷物ヲ作製配付セリ

▲德 島 縣

一 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

縣直營

講演會・協議會・リーフレットノ作製配付・郡市農會ニ於ケル品評會及講習講話會ニ審査員或ハ

講師派遣・實地指導

縣農會事業助成

パンフレットノ作製配付・協議會・堆肥品評會ノ審査・講習講話會ノ講師派遣・指導督勵

事業成績

協議會開催回数

一一

講演會開催回数
リーフレット・パンフレット作製配付

三五 (聽講者延人員 二、六二五)

四種 (一種二〇〇―五、〇〇〇部)

二 草木灰貯藏場設置助成

施行方法

豫メ各郡市毎ニ助成スベキ箇數ヲ配當シ一箇當五圓宛ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

一二六

設置箇數
設置費

總額 二、二二〇・八六圓

一箇平均 一七・六二圓

草木灰貯藏量

總量 一二、六〇〇貫

一箇平均 一〇〇貫

三 郡農會・郡養蠶業組合・市町村・市町村農會及養蠶實行組合ニ於ケル自給肥料改良増産獎勵施設助成

施行方法

助成先	助成すべき施設ノ種類	助成率
郡農會	堆肥改良増産競技會	一郡平均六五圓(審査ハ縣・縣農事試驗場及縣農會關係者之ニ當ル)
郡養蠶業組合	桑園間作綠肥共進會	
市町村農會及養蠶實行組合	下肥溜設置・綠肥採種圃設置・綠肥種子購入配付又ハ共同購入	一郡平均三七・五〇圓
		一市町村二〇圓以内

事業成績

○郡農會ニ於ケル堆肥改良増産競技會

助成ヲ受ケタル郡農會數 一〇

出品點數 一、六四二 (授賞點數 四九五)

出品堆肥數量

總數 二、五四五、九〇〇貫

出品者耕地反當 一五〇貫

○郡養蠶業組合ニ於ケル桑園間作綠肥共進會

助成ヲ受ケタル郡養蠶業組合數 五

出品點數 五六八 (授賞點數 一五五)

○市町村・市町村農會並養蠶實行組合ニ於ケル自給肥料改良増産施設助成

助成ヲ受ケタル團體數

市 町 村 三

市 町 村 農 會 六〇

養蠶實行組合 九

計 七二

同上事業費總額 四、四二一圓

助成金交付額 八〇〇圓

施設別助成件數

下肥溜設置 二二

綠肥採種圃設置 二七

綠肥種子購入配付又ハ共同購入 五二

以上各施設實施ノ效果

農家ノ自覺ヲ促シ自給肥料ノ増産ニ努メ肥料代ノ支出ノ節減ニ貢獻セル處大ナリ、即チ昭和九年縣内ノ自給肥料消費量ハ一九、一一五萬貫ニ上リ本施設實施前タル昭和六年ノ消費量ニ比スレバ四割ヲ増加セリ

▲香 川 縣

一 自給肥料増産利用實地指導地設置

施行方法

稲作ニ對スル實地指導地

農事改良組合ヲシテ一組合五反以上ノ水稻ニ對シ青刈大豆・堆肥及鶏糞ノ施用法ニ關スル指導地ヲ設置セシメ一組合十五圓ノ助成金ヲ交付ス

果樹及蔬菜ニ對スル實地指導地

町村ヲシテ一町村一五反以上ノ果樹及蔬菜ニ對シ綠肥及堆肥ノ施用法ニ關スル指導地ヲ設置セシメ一町村四十五圓ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

町 村	農 事 改 良 組 合	助 成 先	作 物 ノ 種 類	指 導 供 用 肥 料	指 導 地 個 所 數
	水 稻		稻	綠 肥 堆 肥	一一二
	菜 樹		菜 樹	糞 肥 堆 肥	一一二
	果 蔬		果 蔬	糞 肥 堆 肥	一一二
					三二七〇三

二 縣農會主催綠肥品評會助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ出品資格ハ農事改良組合ニシテ綠肥栽培面積一種類五反以上（桑園間作ヲ除ク）ノ者ニシテ授賞點數ハ出品點數ノ四割以内ナルコトヲ條件トシテ綠肥品評會ヲ開催セシム

事業成績

出 品 點 數 一一一 （總テ青刈大豆）（内授賞點數 一六）
 出 品 面 積 一五六・五町（反當平均生草收量 三〇〇貫）

三 縣養蠶業組合聯合會主催桑園間作綠肥品評會助成

施行方法

縣養蠶業組合聯合會ヲ助成シ、出品資格ハ郡養蠶業組合ニ於テ所屬養蠶實行組合員中ヨリ豫選シ、出品單位ハ栽培面積五畝以上ニシテ、授賞點數ハ出品點數ノ四割以内ナルコトヲ條件トシ桑園間作綠肥品評會ヲ開催セシム

事業成績

出 品 點 數 五九
 出 品 面 積 八・四町（反當平均生草收量 五三〇貫）（授賞點數 一八）

四 郡市農會ニ於ケル青刈大豆種子共同購入助成

施行方法

郡農會ヲシテ青刈大豆種子ノ共同購入ヲ行ハシメ反當種子代ニ對シ其ノ三割以內二十錢餘ノ助成金ヲ交付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

八

共同購入種子量

八四九・五九石

同上種子栽培面積

一、五四一・三町

五 郡養蠶業組合ニ於ケル蠶豆種子共同購入助成

施行方法

郡養蠶業組合ヲシテ蠶豆種子ノ共同購入ヲ行ハシメ反當種子代ニ對シ其ノ三割以內平均二十五錢ノ助成金ヲ交付スルト共ニ縣及縣養蠶業組合聯合會ノ主催ヲ以テ之ガ一齊播週間ヲ實施ス

事業成績

助成ヲ受ケタル郡養蠶業組合數

七

共同購入種子量

二四四・二六石

同上種子栽培面積

四二八・五町

六 自給肥料改良増産普及宣傳指導督勵

施行方法

印刷物ノ作製配付・指導獎勵

▲愛媛縣

一 縣農會ニ於ケル綠肥種子共同購入助成

施行方法

縣農會ニ於ケル紫雲英、青刈大豆、蠶豆、ザイトウキツケン及ヘアリーヴェツチ種子ノ共同購入ニ對シ助成金ヲ交付ス

事業成績

共同購入種子量

綠肥種類	共同購入種子量	同上栽培面積
紫雲英	二〇四・〇石	一、一三三町
青刈大豆	三〇一・八	一、二〇七
蠶豆	一九・六	四〇
ザイトウキツケン	一六・三	八二
計	五四一・七	二、四六二

二 郡市農會ニ於ケル堆肥舎建設獎勵事業助成

一二六

施行方法

郡市農會ニ於ケル堆肥舎ノ新設又ハ改造助成事業ヲ左記ニ依リ助成ス

新設ノ場合 建設費ノ三分ノ二、一棟十圓以内

改造ノ場合 改造費ノ三分ノ二、一棟五圓以内

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會

一五

助成ヲ受ケタル堆肥舎

新設	棟	坪	數
二二九			一、〇五二・八坪
改造			一九〇・〇
			四四

▲高知縣

一 自給肥料改良増産指導町村設置

施行方法

昭和八年度ニ引續キ自給肥料改良増産指導町村ヲ設置シ左記施設ヲ行ハシメ之ヲ助成ス

自給肥料改良増産獎勵員設置(一ヶ町村五人、一人當年手當二圓支給)・綠肥品評會・堆肥品評會・

綠肥種子配付・堆肥舎設置助成・施肥改善模範圃設置・草刈競技會・講習講話會・綠肥栽培指導地

設置

事業成績

指導町村設置數

一三 (外ニ之ニ準ズルモノ一ヶ村)

指導町村ニ於テ實施セル施設

獎勵員設置町村數

一四 (内一ヶ村ハ準指導村)

綠肥品評會開催町村數

一三 (出品點數 六三三・授賞點數 二〇二)

堆肥品評會開催町村數

一三 (出品點數 八七一・授賞點數 三三九)

綠肥種子配付實施町村數

一三

購入配付種子量

青刈大豆 六六・七石

同上栽培面積

四六八・九町

一二七

青刈大豆

一五九・六町
一六七・二町

- 堆肥舍設置助成町村數
- 講習講話開催町村數
- 施肥改善模範圃設置町村數
- 綠肥栽培指導地設置町村數
- 草刈競技會實施町村數

- 八 (設置個所數 三六・同上坪數 一九〇坪)
- 七 (開催回数 二三・聽講者員數 一、三四九)
- 九 (▲水稻五 ▲麥五 ▲桑二 ▲柑橘二)
- 一 三

本施設實施ノ效果

昭和七年度以來繼續設置セル指導町村七ヶ町村ニ於ケル主要自給肥料及金肥ノ消費高ヲ見ルニ左ノ如シ

年	堆肥消費高		山野草藥稈類消費高		綠肥消費高		金肥消費高	
	數量	指數	數量	指數	數量	指數	金額	指數
昭和六年	一、七二九 <small>千貫</small>	一〇〇	四三八 <small>千貫</small>	一〇〇	一、三三五 <small>千貫</small>	一〇〇	一一〇、四一九 <small>円</small>	一〇〇
同 七 年	二、四六七	一四三	五一七	一一八	二、三〇一	一七二	一〇五、一七三	九五
同 八 年	三、一九三	一八五	六七七	一五五	二、八四三	二一三	八六、八一	七九
同 九 年	三、七八一	二一九	九五〇	二一七	三、四六九	二六〇	八二、九八六	七五

二 指導員設置

施行方法

前記指導町村以外ノ市町村ニ一市町村一乃至三名ノ指導員ヲ設置シ一人當年手當二圓ヲ支給ス

事業成績

- 指導員設置町村數 一五四
- 設置指導員員數 一八二

三 印刷物作製配付

事業成績

- 作製配付印刷物種類及部數 一種 五〇〇部

▲福岡縣

一 堆肥改良増産施用施設助成

施行方法

農村ノ經濟狀態ニ依リ特定市町村(指定町村ハ毎年更新)ヲ指定シ農事組合ヲ實行單位トシ堆肥改良増産施用ニ關スル諸般ノ施設ヲ行ハシメ一農事組合平均十圓一町村平均二百圓ノ助成金ヲ交

付ス

事業成績

助成ヲ受ケタル市町村數

二二

同上農事組合數

四四〇

指定町村ニ於ケル堆肥生産狀況

(反當施用量)

昭和八年度

二五三貫

昭和九年度

四二三

前年度ニ比シ増加量

一七〇

▲佐賀縣

一 縣農會ニ於ケル自給肥料改良増産施設助成

施行方法並事業成績

縣農會ヲシテ市町村農會主催農事實行組合ヲ出品單位トスル左記共進會ヲ行ハシメ之ヲ助成ス

○堆肥共進會

助成ヲ受ケタル町村農會數

一〇三

出品組合數

一、七五〇

出品堆肥數量

八七、一七五千貫 (出品者耕地反當 一六二貫)

○泥土揚共進會

助成ヲ受ケタル町村農會數

四〇

出品組合數

五七八

泥土揚數量

七〇、三一一千貫 (出品者耕地反當 三七三貫)

○野草採取共進會助成

助成ヲ受ケタル町村農會數

五九

出品組合數

九五九

採取野草數量

二七、六二〇千貫 (出品者耕地反當 九九貫)

○麥間作綠肥共進會助成

助成ヲ受ケタル町村數

六九

出品組合數

一、一二二

出品綠肥栽培面積

八、二八八・一町

同上綠肥收量

二四、〇〇六千貫 (出品者耕地反當 八〇貫)

二 自給肥料改良増産普及宣傳指導

施行方法

○速成堆肥積込デー

特ニ速成堆肥ノ増産ヲ必要トスル町村農會ヲ選定シ農閑期ニ於テ速成堆肥積込デーヲ實施セシム

○自給肥料改良増産施用優良事例ヲ調査シ其ノ事績ヲ印刷配付シテ他ノ範タラシム

○十一町村ヲ特定シ自給肥料改良増産計畫ノ樹立並實行ニ關シ特別ノ指導督勵ヲ行フ

以上各施設實施ノ效果

堆肥共進會ハ縣下百二十五市町村農會中百三市町村農會ニ於テ開催セラレ然カモ農事實行組合ノ團體出品ナリシヲ以テ協力之ガ實行ニ努メ大ナル效果ヲ收メタリ 共同泥土揚、野草採取及間作緑肥共進會ハ共ニ計畫通り之ガ實施ヲ見農村不況ノ際之等施設ハ大ニ歡迎セラレ地力維持増進ト共ニ購入肥料ノ節減ニ依ル農家經濟ノ緩和ニ齎ラシタル效果亦大ナルモノアルヲ認ム

▲長 崎 縣

一 堆肥増産品評會助成

施行方法

島郡市農會ヲ助成シ堆肥品評會ヲ開催シ又ハ町村農會主催ノモノノ助成ヲ行ハシム
事業成績

○島郡市農會主催品評會

助成ヲ受ケタル島郡市農會數 一島六郡二市農會

參加町村農會數 六九

出 品 點 數 四九一

出品堆肥數量 一、五一七千貫 (出品者耕地反當 三〇一貫)

○町村農會主催品評會

助成ヲ受ケタル町村農會數 七三

出 品 點 數 一〇、四四六

出品堆肥數量 一八、三二四千貫 (出品者耕地反當 一九六貫)

二 圃場堆肥舍建設助成

施行方法

島郡市農會ヲシテ圃場堆肥舎建設助成ヲ行ハシメ一棟當平均約五圓五十錢餘ノ助成金ヲ交付ス
事業成績

助成ヲ受ケタル島郡市農會數 一島七郡二市農會
圃場堆肥舎建設棟數 二四四
同上坪數 一、〇五四坪
一棟當平均坪數 四・一坪
一棟當平均建設費 三六・三六圓

三、綠肥増殖獎勵施設助成

施行方法

○縣農會、縣購買組合聯合會及郡市農會ニ於ケル綠肥種子共同購入助成
○郡農會ニ於ケル綠肥採種圃設置助成

事業成績

○種子共同購入助成
助成ヲ受ケタル團體數 縣農會、七郡農會
共同購入種子量

綠肥種類	共同購入種子量	同上栽培面積
紫雲英	九〇・〇〇石	四四七・〇町
青豆	四四九・二七	一、一二〇・〇
蠶豆	一〇三・七九	二〇六・四
ルビ	四・四六	二二・二
トウキツケン	五・四三	三六・〇
計	六五二・九五	一、八三一・六

○採種圃設置助成

助成ヲ受ケタル團體數

五郡農會

採種圃設置狀況

綠肥種類	採種圃面積	採種量	同上種子栽培面積
紫雲英	〇・三五町	一・二七石	六・三〇町
青豆	二・八五	一四・三二	三五・三五
蠶豆	〇・八五	一三・九四	二七・六〇
ルビ	〇・六五	七・〇三	三五・一〇
トウキツケン	〇・一〇	〇・六二	三・八〇
計	四・八〇	三七・一八	一〇八・一五

▲熊本縣

一 自給肥料改良増産獎勵委員設置

施行方法

縣廳及農事試驗場ノ關係職員中ヨリ獎勵委員ヲ任命シ自給肥料改良増産指導督勵ニ當ラシム

事業成績

獎勵委員數

一〇

二 セラデラ採種圃設置

施行方法

縣直營及村農會ニ委託シ、セラデラ採種圃ヲ設置シ生産種子ヲ無償配付ス

採種圃面積

一九・六町 (縣直營ノモノ 一〇・〇町)

同上採種量

八九・四石

同上栽培面積

三五六・〇町

三 堆肥共進會助成

施行方法

縣農會ヲ助成シ縣下一圓ニ亘リ農事小組合ヲ出品單位トスル堆肥共進會ヲ開催セシム

事業成績

出品點數

三四

出品堆肥數量

二、二六七千貫 (出品者耕地反當 二四六貫)

四 印刷物ノ配付

施行方法

刈敷大豆獎勵ポスター、「セラデラノ作り方」(リーフレット)及「速成堆肥ノ造り方」(リーフレット)ヲ作製配付セリ

▲大分縣

一 堆肥競進會助成

施行方法

郡市農會ヲ助成シ農事小組合ヲ出品單位トスル堆肥競進會ヲ開催セシム

事業成績

助成ヲ受ケタル郡市農會數

二市一二郡農會

參加町村數 二一四
 出品組合數 四八五
 出品組合ノ堆肥生産數量 二〇、〇八八千貫
 同上組合員耕地反當數量 二七九貫

本施設實施ノ效果

○出品組合ノ堆肥生産量ハ昭和八年ニ比シ總量ニ於テ三、九三九千貫、組合員耕地反當數量ニ於テ五三貫ノ増加ヲ示セリ
 ○組合員ノ融和共同精神ノ作興上及ボセル效果大ナリ
 ○堆肥増産ノ氣運ノ増進ニ伴ヒ從來中絶ノ状態ニアリタル草刈ノ習慣漸ク盛トナレリ

二 自給肥料指導組合設置助成

施行方法

特定町村農會ヲ助成シ農事小組合ヲ單位トシテ自給肥料指導組合ヲ設置シ自給肥料改良増産ニ關スル各般ノ施設ヲ行ハシメ徹底的指導督勵ヲ加フ

事業成績

助成ヲ受ケタル組合數 九九
 指導組合ニ於テ實施セル施設

堆肥舎改造棟數 三一四
 堆肥舎建設棟數 三六
 講習、講話會開催回数 一六六
 自給肥料品評會開催數 一三七
 自給肥料増産頼母子講設定數 六
 自給肥料増産一齋運動實施回数 二三一
 草刈 一三三
 堆肥積込 八二
 堆肥積込週間 一六
 綠肥種子共同購入

綠肥種類	共同購入種子量	同上種子栽培面積
青刈大豆	二一八・五石	五四七・〇町
紫雲英	三二・〇	一九四・五
蠶豆	二〇・〇	六二・〇
ザイトウキツケ	二七・〇	八七・〇
計	二九七・五	八九〇・五

本施設實施ノ效果

○指導組合ニ於ケル自給肥料生産量

自給肥料種類	昭和八年度生産量		昭和九年度生産量		昭和七年度ヲ一〇トスル昭和八年ノ割合
	量	町	量	町	
綠	四三三、四四〇	(栽培面積)町	七九九、六〇〇	(栽培面積)町	一八四
青刈大豆	五九一、〇〇〇		六〇八、〇〇〇		一〇二
紫雲英	三九、六〇〇		八九、二〇〇		二〇七
蠶豆	一三、〇〇〇		二六〇、四〇〇		二四二
ザイトウキツケン	一、〇〇〇		三一、五〇〇		—
其他	五九七、七七一		九二三、六一、七八八、七〇〇		—
肥	八、七五〇、六一〇		一〇、〇一〇、〇一二		一一四
堆肥	五、八三八、七七〇		六、三四〇、九一二		一〇八
人糞	三八〇、五〇〇		三八三、〇〇〇		一〇一
野糞	四一五、八〇〇		四六七、九〇〇		一一二
蠶糞	九五八、〇〇〇		九三九、五〇〇		九八
其他	八〇、五〇〇		九〇、〇〇〇		一一〇
合計	八、七五〇、六一〇		一〇、〇一〇、〇一二		一一四

○自給自足經濟ヲ基調トスル勤勉力行ノ精神徹底シ確固タル農業經營ニ向ハントスル氣風涵養セ

ラレタリ

○自給肥料ノ效果確證セラレタル結果自給肥料ノ生産量著シク増加シ販賣肥料ヲ節減シ得タルト

共ニ自給肥料ノ増施ニヨリ本年ノ旱害ヲ輕減セシメ得タリ

三 青刈大豆原種圃設置

施行方法

縣農事試驗場ニ於テ青刈大豆(茶千石九號)原種圃ヲ設置シ生産種子ヲ委託採種圃ニ無償配付ス

事業成績

原種圃面積	五反
生産種子量	五・二〇石
配付種子量	三・二三石 (殘餘ノ原種ハ採種圃經營者ニ無償配付ス)
同上原種栽培採種圃面積	二一五反

本施設實施ノ效果

本縣綠肥トシテ最重要ナル青刈大豆ノ改良増殖ヲ容易ナラシメタリ

▲宮崎縣

一 青刈大豆採種圃設置

施行方法

青刈大豆種子縣内自給ノ目的ヲ以テ縣内適地二個所ヲ選定シ青刈大豆(主トシテ操大豆)ノ採種圃ヲ設置セシメ之ヲ助成ス

事業成績

採種圃面積	一〇反
生産種子量	八・〇五石
配付種子量	七・〇〇石
同上 種子栽培面積	一四〇反

二 紫雲英採種圃設置助成

施行方法

縣内適地ニ紫雲英(富農選七號)採種組合ヲ組織シ採種圃ヲ設置セシメ之ヲ助成ス

事業成績

採種圃設置個所數	一〇
採種圃面積	九町
生産種子量	二一・二石
配付種子量	一八・五石
同上 種子栽培面積	一五五町

本施設實施ノ效果

富農選七號ノ優良性認メラレ之ガ栽培普及セルト共ニ採種ノ氣運ヲ醸成セリ

三 ルービン種子購入配付

施行方法

ルービン種子ヲ縣下ルービン採種農家ヨリ買上ゲ之ヲ新栽培地ニ無償配付ス

事業成績

購入配付種子量	一〇石
同上 種子栽培面積	五〇町

(主トシテ桑園間作トシテ栽培シ反當八〇〇貫一、〇〇〇貫ノ生草收量ヲ擧ゲ得タリ)

四 ルービン根瘤菌培養配付

施行方法

前記施設又ハ農會ニ於テ購入配付セルルーピン種子ノ栽培ニ要スル根瘤菌ヲ農事試驗場ニ於テ培養無償配付ス

事業成績

培養配付數量 試驗管 二、〇〇〇本
同上接種面積 五〇町

五 自給肥料改良増産競進會助成

施行方法

○郡市農會ヲシテ堆肥競進會ヲ開催セシメ賞品費及審査費ヲ助成ス
○郡市養蠶業組合ヲシテ桑園間作綠肥競進會ヲ開催セシメ賞品費及審査費ヲ助成ス

事業成績

郡市農會主催堆肥競進會 三市七郡農會
助成ヲ受ケタル郡市農會數 五四四
郡市養蠶業組合主催綠肥競進會

助成ヲ受ケタル郡市養蠶業組合數 三市八郡養蠶業組合
出品點數 一、一〇二

本施設實施ノ效果

自給肥料改良増産ニ關スル觀念ヲ強調シ堆肥ハ出品組合ノ生産從來ノモノニ比シ二―四倍ノ増加ヲ示シ、綠肥ノ作付モ著シク増加セリ

▲鹿兒島縣

一 堆肥品評會助成

施行方法

町村又ハ町村農會ヲシテ堆肥品評會ヲ開催セシメ、各町村毎ニ成績優秀ナルモノ三點ヲ選抜出品セシメ抽籤ニヨリ副賞トシテ縣ヨリ牛馬ヲ交付ス

事業成績

品評會實施町村數 一一〇
出品農家戶數 一六二、一一一 (農家總戶數一八六、七四四戸ノ八七%)

同上 出品堆肥數量 二七八、七一七千貫 (出品者耕地反當二二六貫)
 抽籤券交付點數 三三九
 抽籤券ヲ交付セラレタル 農家ノ出品堆肥數量 二、三八三千貫 (同上農家耕地反當六〇六貫)
 當籤點數 二二

本施設實施ノ效果

堆肥増産上大ナル效果ヲ收メ、昭和八年迄ノ最近三ヶ年平均堆肥生産量二一六、三四〇千貫ニ對シテ二割九分ヲ増加シ二七八、七二〇千貫ニ達セリ

二 緑肥改良増産獎勵施設助成

施行方法

郡農會ガ町村農會ニ於テ緑肥採種圃設置、濕田緑肥集團栽培ニ對シ交付スル助成金ニ對シ獎勵金ヲ交付ス

事業成績

緑肥採種圃設置

助成ヲ受ケタル郡農會數 一一

採種圃設置狀況

緑肥種類	採種圃面積	採種量	同上種子栽培面積
ルビーピン	二八・八〇町	二二・〇七石	四三九・一〇町
セラデラ	三・二〇	一八・四〇	七七・〇〇

本施設實施ノ效果

畑地ニ於ケル冬作緑肥栽培ノ有利ナルコトガ一般ニ認めラルニ至ルト共ニルーピン、セラデラ等ノ自家採種ヲ行フモノ増加セリ

濕田緑肥集團栽培

助成ヲ受ケタル郡農會數 一一

濕田集團栽培狀況

緑肥種類	個所數	面積
青刈大豆	六	三一・五町
紫雲英	五	二六・七
計	一一	五八・二

本施設實施ノ效果

從來綠肥栽培不可能トナサレタル濕田ニ於テモ充分栽培シ得ルト共ニ水稻栽培上有利ナルコトヲ實證シタルヲ以テ其ノ栽培面積ハ漸次増加スルニ至レリ

三 綠肥根瘤菌培養配付

事業成績

根瘤菌培養配付數量

綠肥種類	配付數量 (袋數)	同上接種面積
ルビー	二、九四三	五八八・六町
レッドクローバー	三七	七・四
ヘアリーヴェヅチ	一一	二・二
計	三、七四四	七四八・八

四 大島郡ニ於ケル綠肥採種圃ノ設置獎勵

施行方法

管内各町村ヲ助成シ農事組合ヲシテ綠肥採種圃ヲ經營シ生産種子ヲ無償配付セシム

事業成績

採種圃設置狀況

綠肥種類	面積	採種量	同上種子栽培面積
ルビー	一・八五町	一五・八三石	五二・九町
蠶豆	〇・五三	四・七三	九・四
計	二・三八	二〇・五六	六二・三

五 自給肥料改良増産普及宣傳指導督勵

施行方法

實地督勵・印刷物作製配付

▲沖繩縣

一 自給肥料改良増産普及宣傳

施行方法

協議會ノ開催・印刷物ノ作製配付

事業成績

協議會ノ開催個所數
印刷物ノ作製配付

五
九種

二 自給肥料改良増産講習會

施行方法

縣主催ニテ開催ス

事業成績

開催個所數
受講者員數

一(三日間)
四五

三 肥料自給地力増進運動

施行方法

十一月二十日ヨリ十二月十五日マデ本島一市三郡ニ亘リ堆肥ノ積込、秋播綠肥栽培管理等自給肥料改良増産一齊運動ヲ實施シ、堆肥堆積量、綠肥栽培狀況ヲ調査ノ上成績優良ナル者ニ抽籤券ヲ交付シ當籤者ニ賞金ヲ交付スルト共ニ特ニ成績優良ナル一個町村ヲ選賞ス

事業成績

本運動參加市町村數
同上參加農家戸數

四五
九、四五四

當籤點數

二〇〇

堆肥、綠肥生産數量

一六、五二二千貫

堆肥生産數量

三〇〇貫

同上參加農家耕地反當

三一九・六町

綠肥栽培面積

一、九五六千貫

同上收穫高

六一一貫

同上反當收穫高

二九八貫

同上參加農家耕地反當

〔三〕 昭和九年度道府縣ニ於ケル自給肥料改良増産獎勵施設一覽

道府縣名	施設	
	豫定	實施
長山福石富		
野梨井川山		
新神東千埼		
奈		
濁川京葉玉		
群栃茨福山		
馬木城島形		
秋宮岩青北		
海		
田城手森道		
	講習、講話、實地指導、協議會、普及宣傳	
	肥料自給運動	
	競進會	
	優良事績表彰	
	綠肥作物種子配給	
	根瘤菌培養配付	
	堆肥堆積場、同堆積用器具設備助成	
	草木灰、肥糞、利下	

計	道府縣名					
	沖鹿兒 繩島	宮大熊長佐 崎分本崎賀	福高愛香德 岡知媛川島	山廣岡島鳥 口島山根取	和奈兵大京 歌 山良庫阪都	滋三愛靜岐 賀重知岡阜
四〇						
四〇						
一〇						
一〇						
三二						
三二						
四						
四						
三四						
三四						
五						
五						
八						
八						
七						
七						

附
錄

〔四〕 昭和九年度自給肥料改良増産獎勵金交付一覽

道府縣名	道府縣豫算額	交國庫付獎勵額金	道府縣	道府縣豫算額	交國庫付獎勵額金						
滋三愛靜岐 長山福石富 新神東千埼 群柄茨福山 秋宮岩青北 奈 海	二三五四三 九三一〇八 五六一〇七 〇〇〇〇五	二三四三三 九三一七二 五六〇〇九 〇〇〇〇〇	賀重知岡阜 野梨井川山 湯川京葉玉 馬木城島形 田城手森道	三二二三二 九六八七九 〇〇〇四五 〇〇〇〇〇	四二二四四 一九六一一 一五〇一一 〇〇〇〇〇	三九四四三 六九二一四 三四〇一九 〇〇〇〇〇	三五三三四 三四七二一 六五〇二一 〇八〇〇〇 七	三三三三四 三七七二一 六〇〇二一 〇〇〇〇〇	計	一九〇、八三七七	一五七、七四〇
沖鹿 宮大熊長佐 福高愛香德 山廣岡島鳥 和奈兵大京 兒 歌	二四 〇一 六一 〇〇	三三六四五 二六〇九〇 九八〇〇〇 〇〇〇〇〇	繩島 崎分本崎賀 岡知媛川島 口島山根取 山良庫阪都	四二二四四 一九六一一 一五〇一一 〇〇〇〇〇	五三三三三 八五七九七 八六七五〇 五〇〇〇〇	三二一二三 六五四七〇 〇三一四〇 〇〇〇〇〇	二二二二二 六五九七六 〇三〇四七 〇〇〇〇〇	計	一九〇、八三七七	一五七、七四〇	

内地ニ於ケル自給肥料ノ消費高 (單位數量千圓)

年次	堆肥		綠肥		人糞尿		其他		計
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
大正十三年	三、四九五、六三三	一四三、萬〇	六一九、〇五〇	七、五〇一、六〇三、八五〇	八、六〇〇	七、七九、四四五	七、三九五、五八、八八	一四、五、九〇〇	
同十四年	三、七三三、九八八	一四〇、萬〇	五、八九、三〇〇	三、五〇一、五、八六九、三三五	八、五、四四〇	八、三四、一五〇	八、一、八〇五、七五、七三	一四、一、八〇〇	
昭和元年	三、五七、三五〇	一三八、六〇〇	六、四四〇、六三三	三、一〇一、六〇、四、七五	八、五、四四〇	七、四三、七五	七、九、三〇〇、〇〇、八三	三、九、五〇〇	
同二年	三、三三三、七三三	一三九、五〇〇	五、四八五、八三八	三、一七、一五、九〇、四、八三八	八、三、七〇〇	八、八、四、六三	七、九、七〇〇、五、五、八、〇五	三、四、七〇〇	
同三年	三、〇一八、〇三三	一三三、七〇〇	六、一六、一三三	三、四、〇〇、二六、二五、三三五	八、四、一〇〇	八、二、六、六五	七、八、八〇五、五三、九六	三、六、二、〇〇	
同四年	三、八〇、二八八	一四三、五〇〇	六、三九、七五	三、四、三〇、一六、三〇、七、八三	七、三、四〇〇	八、三、二、九八	七、九、三〇五、七九、九六	三、四、三、〇〇	
同五年	三、三五六、七三五	一三三、六〇〇	六、一三、三三八	二、九、一〇〇、一六、三、五、六五	六、八、〇〇〇	八、四、四、六五	六、八、〇、五、四、八、六、九六	二、八、一、四〇〇	
同六年	三、五三二、八六三	一三三、五〇〇	六、三九、四三五	二、五、八〇〇、一六、一、六、六三	五、六、〇〇〇	二、五、六、六七	六、三、五、九、九、四、七、三、八	三、五、一、六〇〇	
同七年	三、九、九〇、六三五	一三二、七〇〇	六、五三、八三五	二、五、七〇〇、一六、〇、二、三、三八	五、五、〇〇〇	九、四、四、三、三五	六、二、七〇、九、九〇、九、三	三、〇、〇、三、〇〇	
同八年	三、九、六三〇、五八八	一四四、〇〇〇	六、八萬、八二三	二、六、六〇〇、一五、七、三、七五	五、六、六〇〇	九、六、〇、五、五	七、三、九〇、六、七、六、〇、〇	二、七、九、〇〇	
同九年	三、一、七、九、三三八	一四八、〇〇〇	六、二、八、六、〇〇	二、四、三〇〇、一六、一、五、五、八	五、〇、〇〇〇	九、六、〇、二、一、三七	七、一、四、〇、三、八、五、六、三	二、九、九、〇〇	

備考 本表ハ「肥料要覽」ニ依ル

内地ニ於ケル緑肥栽培面積 (單位町)

年次	紫雲英	苜蓿	蠶豆・豌豆	青刈大豆	其ノ他	計
明治四十二年	三〇六、三八〇〇	五、八五・九	一〇、三三・五	一三〇、四八・三	六、三五・三	三九七、七八・九
同 四十三年	二七、九六・〇	七、七六・九	二、九三・五	一七、一九〇・九	四、七〇・八	三六〇、五七・七
同 四十四年	三三〇、七八・三	七、三六・六	二、八七・三	一七、一二・八	五、三〇・四	三八三、四三・三
大正元年	三三、三九九四	七、八二・二	三、九四・六	一六、二四・三	五、二八・〇	三九八、七七・五
同 二年	三九、六七・三	八、三三・七	二、五九・〇	一四、七九・三	四、三三・六	三九五、七六・八
同 三年	三六、六九・八	八、八四・九	三、〇三・〇	一九、七九・九	四、〇八・七	四〇四、三〇・八
同 四年	三三、七三・一	一〇、三二・五	一〇、九三・三	一四、七、六五・六	四、三三・九	四〇〇、八七・四
同 五年	二四九、四三・五	一〇、七二・九	九、九五・八	一四九、三九・一	四、一四・五	四三三、五七・三
同 六年	二五四、六一・八	一〇、七三・一	一〇、三三・二	一五〇、四二・九	三、六〇・七	四一九、七四・七
同 七年	二四九、七五・一	九、九三・五	九、九八・二	一四八、三三・一	三、六六・一	四二二、六四・〇
同 八年	二五五、八四・〇	一〇、三三・三	九、〇五・五	一四四、八四・九	三、一八・五	四三三、三三・二
同 九年	二六〇、四九・七	一一、八三・三	八、八六・六	一四〇、二八・七	二、七八・三	四三三、五〇・五
同 十年	二六四、三三・五	一一、二〇・五	八、三三・二	一四、九七・三	二、九五・三	四四八、九三・七

同 十一年	二六六、四八・〇	一〇、三九・八	七、二九・九	一三三、九〇・四	二、二九・四	四三〇、六八・〇
同 十二年	二七五、〇七・八	一〇、五三・九	七、七六・六	一三七、九六・四	二、八〇・三	四四二、〇六・九
同 十三年	二八一、四一・四	九、八八・〇	六、七〇・八	一三三、八七・二	二、四七・三	四三三、三三・七
同 十四年	二八五、〇〇・六	九、六八・二	六、四七・八	一三〇、九五・九	三、三三・三	四三五、七四・八
昭和元年	二八一、七三・五	一〇、四五・五	六、七九・三	一三八、一三・九	四、三三・九	四三二、四二・一
同 二年	二七三、八三・九	八、二九・七	七、一四・六	一三八、〇四・四	五、二六・〇	四三三、四七・六
同 三年	二七八、一〇三・八	九、二七・七	六、九七・七	一三六、〇三・六	五、一七・三	四三五、五八・一
同 四年	二八〇、〇三・九	九、四三・〇	六、七六・五	一三五、八三・五	五、六〇・九	四三七、八一・八
同 五年	二七七、七八・四	九、二七・九	七、九七・四	一三六、四四・五	六、三三・九	四三七、八四・一
同 六年	二八四、六三・三	九、九八・四	二、七四・九	一三五、八四・九	八、五四・一	四五〇、七二・六
同 七年	二九五、八三・三	一〇、〇一・六	一五、七五・七	一三八、三〇・九	一〇、六三・九	四七〇、五〇・四
同 八年	三〇六、一六・一	九、八〇・六	一八、七六・〇	一四四、五三・六	一三、八九・三	四九三、一六・八
同 九年	三〇三、六六・六	一〇、〇三・八	二〇、四九・三	一五三、一五・五	一八、七五・九	五〇五、四五・〇

備考 本表ハ「農林省統計表」ニ依ル

道府縣別綠肥栽培面積 (單位町)

道府縣名	明治十二年	大正元年	同八年	昭和元年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年
滋三愛靜岐	九六八二七 四〇七〇	一〇七九三 六九八	二二七八 七三三	二二八八 六八七	一四八八 六七三	一五八八 三三六	一六九八 〇〇〇	一六九八 〇〇〇	一六〇〇 四七
長山福石富	〇六二二 七三三	一七三三 七三三	二一八八 九七七	一五七九 二八四	一四六二 四三六	一四〇〇 三三三	一五〇〇 四三三	一七〇〇 三三三	一六〇〇 三三三
新神東千埼	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九	二五〇九 九〇九
群栃茨福山	二七一五 二九二	二七一五 二九二	二七一五 二九二	二七一五 二九二	二七一五 二九二	二七一五 二九二	二七一五 二九二	二七一五 二九二	二七一五 二九二
秋宮岩青北	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三	一〇七三 七三三

備考 本表ハ「農林省統計表」ニ依ル

計	沖鹿 兒 繩島	宮大熊長佐 崎分本崎賀	福高愛香德 岡知媛川島	山廣岡島鳥 口島山根取	和奈兵大京 歌 山良車阪都
三九、三三	二六、七三	一〇、三三	四、八五	九、三九	二、一五
三九、七六	二九、五四	一〇、九三	四、八四	九、四六	二、二六
四三、二〇	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五
四三、四三	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇八	一、〇八
四七、八四	一、四九	一、四九	一、四九	一、四九	一、四九
四五、七六	一、八六	一、八六	一、八六	一、八六	一、八六
四七、〇八	一、七四	一、七四	一、七四	一、七四	一、七四
四九、二七	二、一五	二、一五	二、一五	二、一五	二、一五
五〇、五一	二、〇五	二、〇五	二、〇五	二、〇五	二、〇五

道府縣別綠肥生産量 (單位千貫)

道府縣名	明治四十二年	大正元年	同八年	昭和元年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年
滋三愛靜岐	五,三三三	五,七三三	六,四九三	六,四三三	六,四三三	七,五〇三	八,四三三	八,四三三	七,四三三
長山福石富	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三
新神東千埼	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三
群栃茨福山	一,九三三	一,九三三	一,九三三	一,九三三	一,九三三	一,九三三	一,九三三	一,九三三	一,九三三
秋宮岩青北	二,五三三	二,五三三	二,五三三	二,五三三	二,五三三	二,五三三	二,五三三	二,五三三	二,五三三
海									
賀重知岡阜	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三	三,四三三
野梨井川山	四,四三三	四,四三三	四,四三三	四,四三三	四,四三三	四,四三三	四,四三三	四,四三三	四,四三三
湯川京葉玉	五,四三三	五,四三三	五,四三三	五,四三三	五,四三三	五,四三三	五,四三三	五,四三三	五,四三三
馬木城島形	六,四三三	六,四三三	六,四三三	六,四三三	六,四三三	六,四三三	六,四三三	六,四三三	六,四三三
田城手森道	七,四三三	七,四三三	七,四三三	七,四三三	七,四三三	七,四三三	七,四三三	七,四三三	七,四三三

備考 本表ハ「農林省統計表」ニ依ル

道府縣名	明治四十二年	大正元年	同八年	昭和元年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年
沖鹿	九,七三三	九,七三三	九,七三三	九,七三三	九,七三三	九,七三三	九,七三三	九,七三三	九,七三三
宮大熊長佐	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三	一,〇三三
福高愛香德	二,〇三三	二,〇三三	二,〇三三	二,〇三三	二,〇三三	二,〇三三	二,〇三三	二,〇三三	二,〇三三
山廣岡島鳥	三,〇三三	三,〇三三	三,〇三三	三,〇三三	三,〇三三	三,〇三三	三,〇三三	三,〇三三	三,〇三三
和奈兵大京	四,〇三三	四,〇三三	四,〇三三	四,〇三三	四,〇三三	四,〇三三	四,〇三三	四,〇三三	四,〇三三
歌									
繩島	五,〇三三	五,〇三三	五,〇三三	五,〇三三	五,〇三三	五,〇三三	五,〇三三	五,〇三三	五,〇三三
崎分本崎賀	六,〇三三	六,〇三三	六,〇三三	六,〇三三	六,〇三三	六,〇三三	六,〇三三	六,〇三三	六,〇三三
岡知媛川島	七,〇三三	七,〇三三	七,〇三三	七,〇三三	七,〇三三	七,〇三三	七,〇三三	七,〇三三	七,〇三三
口島山根取	八,〇三三	八,〇三三	八,〇三三	八,〇三三	八,〇三三	八,〇三三	八,〇三三	八,〇三三	八,〇三三
山良庫阪都	九,〇三三	九,〇三三	九,〇三三	九,〇三三	九,〇三三	九,〇三三	九,〇三三	九,〇三三	九,〇三三

道府縣別堆肥消費高 (單位數量 百萬貫)

道府縣名	數量									金額								
	十三年正	元昭和	五年同	六年同	七年同	八年同	九年同	十三年正	元昭和	五年同	六年同	七年同	八年同	九年同				
滋三愛靜岐	八,七九,五二五	六,八四,〇〇〇	四,九八,一六六	四,九八,一六六	三,七九,四〇〇	三,五五,九七〇	三,三三,八四〇	二,八三,〇〇〇	二,一三,〇〇〇	一,一三,〇〇〇	一,一三,〇〇〇	一,一三,〇〇〇	一,一三,〇〇〇	一,一三,〇〇〇				
長山福石富	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八	一,〇三,三六八				
新神東千埼	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇	三,五九,〇〇〇				
群栃茨福山	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇	五,九八,五二〇				
秋宮岩青北	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三				
海	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三	三,三三,三三三				
道府縣名	賀重知岡阜	野梨井川山	潟川京葉玉	馬木城島形	田城手森道													

備考 本表ハ道府縣ノ報告ニ依ル

道府縣名	數量					金額								
	十三年正	元昭和	五年同	六年同	七年同	八年同	九年同	十三年正	元昭和	五年同	六年同	七年同	八年同	九年同
沖鹿	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇
宮大熊長佐	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
福高愛香德	三,六八	三,六八	三,六八	三,六八	三,六八	三,六八	三,六八	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
山廣岡島鳥	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
和奈兵大京	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
計	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	五,七三	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇
兒	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
細島	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
崎分本崎賀	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
岡知媛川島	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
口島山根取	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇
山良庫阪都	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	三,二七	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇	一,四〇,〇〇〇

昭和八年及昭和九年ニ於ケル道府縣別耕地反當自給肥料施用高 (單位 貫)

一六四

道府縣名	自給肥料名	昭和八年		昭和九年	
		綠肥	堆肥	綠肥	堆肥
滋三愛靜岐	長山福石富	三〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇
新神東千埼	群撈茨福山	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
秋宮岩青北	海	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
賀重知岡阜	野梨井川山	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
湯川京葉玉	馬木城島形	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
田城手森道		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
計		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
同上評價		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

備考 本表ハ道府縣ヨリノ報告ニ依ル自給肥料ノ消費高ヲ「農林省統計表」ニ依ル耕地面積ヲ以テ除シテ算出セルモノナリ

道府縣名	自給肥料名	昭和八年		昭和九年	
		綠肥	堆肥	綠肥	堆肥
平	沖鹿	三三	六三	三三	六三
兒	宮大熊長佐	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
均	崎分本崎賀	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
	岡知媛川島	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
	口島山根取	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
	山良庫阪都	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
計		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
同上評價		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

一六五

岐阜	長野	山梨	福井	石川	
パンフレット	同 パンフレット	同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同
自給肥料改良奨励事業報告	自給肥料改良増産指針 自給肥料指導員名簿 紫雲英の栽培と採種法	堆肥改良堆積法 堆肥競技會 蠶糞處理改善 蠶糞處理改善 堆肥改良堆積法	自給肥料改良増産奨励指針	緑肥の奨め 普通堆肥と速成堆肥の作り方 堆肥一齊積込週間	紫雲英の採種 紫雲英採種
九—九	九—二 九—四 九—二 九—四	九—八 九—六 九—六 九—八 九—〇	九—一	九—一 九—三 九—七 九—一	九—四 九—四

富山	新潟	神奈川	東京	千葉	埼玉
同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同
紫雲英灌水奨励 堆肥一齊積込週間宣傳 堆肥一齊積込週間	紫雲英雪害に對する緊急心得 富山縣自給肥料改善事例 青刈大豆とヘアリーヴェッチ 堆肥一齊積込週間 堆肥一齊積込週間	堆肥積込週間 堆肥積込週間設定趣意 石灰窒素堆肥の御奨め 堆肥積込證	緑肥の智識 本府に於けるルービンの成績第二報	自給肥料改良増産奨励事業成績報告書 自給肥料として有力なる鶏糞の施用法並に有望なる畑作緑肥ルービンの栽培法	
九—〇	九—四 九—四 九—四 九—四 九—四 九—四	九—六 九—六 九—七 九—六 九—三	九—一〇 九—一〇	一〇—三 一〇—三 一〇—三	一

兵 庫	大 阪	京 都	滋 賀	三 重	愛 知	静 岡	岐 阜
	同	リ ー フ レ ッ ト	ポ ス タ ー	パ ン フ レ ッ ト	同	リ ー フ レ ッ ト	ポ ス タ ー
	鹽害地ニ於ケル鹽拔法及地力回復法 堆肥既肥の改良増産を奨む	堆肥増産奨励	速成堆肥	堆肥増産競進會報告書 紫雲英採種上の注意		速成堆肥の奨め 堆肥増産一齊積込	自給肥料改良増産施用優良事例 速成堆肥の製造法に就て 綠肥奨励 堆肥一齊積込週間
	一〇〇—三	九—一〇	一〇—二	九—九		九—七	九—六 九—五 九—九

廣 島	岡 山	島 根	鳥 取	和 歌 山	奈 良
ポ ス タ ー	パ ン フ レ ッ ト	リ ー フ レ ッ ト	同	同	リ ー フ レ ッ ト
米麥作に對する加里肥料の效果 堆肥積込週間	綠肥作物の奨励 自給肥料改良増産實施計畫書	自給肥料改良増産	堆肥週間實施要項 堆肥週間 自給肥料改良増産	綠肥堆肥の施用法 自給肥料増産一齊週間趣 自給肥料増産一齊週間趣意書 速成堆肥を作れ 堆肥を作れ 自給肥料増産一齊週間 自給肥料増産(戸票附)	綠肥栽培一覽 自給肥料の奨め 根瘤菌接種法 金肥節約の大關青刈大豆を作れ
一〇〇—三	九—一〇	一〇—三	一〇—三 一〇—三 一〇—三	九—九 九—九 九—五 九—三 九—九 九—九	一〇—三 九—一 九—三 九—二

